

# 財務省 税関 総合職 2024

令和6年度 採用案内



JAPAN CUSTOMS  
2024



# 関税局長からのメッセージ

明治開国以来長きにわたり、税関は、時代の変化に柔軟に対応しながら、貿易秩序の維持及び日本の経済の発展に大きな役割を果たしてきています。また、財務省関税局は、税関の司令塔として、より良い関税政策・税関行政の企画立案に向け、国内関係機関や関係業界、さらには各国の税関や国際機関などと連携・協力しながら、日々取り組んでいるところです。

関税局・税関では、①安全・安心な社会の実現、②適正かつ公平な関税等の徴収、③貿易の円滑化を大きな使命として掲げておりますが、厳格な水際取締り、適正な徴税の一方で貿易の円滑化を確保すること、つまり適正かつ迅速な通関をバランス感覚を持って実現していくことが重要です。

また、直近の状況を見ると、越境電子商取引（EC）の拡大による輸入貨物の急増や、民間部門を起点とした経済社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）化の急速な進展、経済安全保障上の脅威の高まりへの対応など、国内外のダイナミックな構造変化の流れを受け、関税局・税関を取り巻く環境は大きく変化しています。

関税局・税関がこのような環境の変化に対応しながら更なる飛躍を遂げるためには、柔軟な発想でバランス感覚を持って関税政策・税関行政の企画立案に取り組むことが必要不可欠です。国内だけでなく、海外にも広がる税関総合職の幅広いフィールドでの活躍の機会を通じて、皆様とともに税関の未来を切り拓いていくことを楽しみにしています。



関税局長  
江島 一彦



## JAPAN CUSTOMS 2024

### – Contents –

関税局長からのメッセージ.....	1	本省課長補佐.....	20
税関の使命・行動指針.....	3	税関課長.....	20
<b>【第1部】業務紹介</b>		本省室長.....	21
財務省 関税局 .....	6	税関支署長.....	22
関税政策.....	7	本省課長.....	23
税関行政.....	9	税関長.....	24
国際協力.....	11	<b>【第3部】税関総合職の活躍するフィールド</b>	
国際交渉.....	12	国際機関.....	25
税関.....	13	海外客員研究員.....	26
監視部.....	14	在外公館.....	27
業務部.....	15	民間.....	28
調査部.....	16	他省庁.....	28
<b>【第2部】税関総合職のキャリアパス</b>		1年目職員からのメッセージ.....	30
本省係員.....	17	ワークライフバランス・福利厚生 .....	31
税関係長.....	18	採用担当者からのメッセージ.....	33
海外留学 .....	19	人事採用関連情報.....	34



# 税関の使命・行動指針

～世界最先端の税関を目指して～

経済活動のグローバル化が急速に進む中、**3**つの使命を税関は果たしています

## 税関の使命

### 1.安全・安心な社会を実現する

銃器・不正薬物・知的財産侵害物品等の密輸を防止するとともに、我が国におけるテロ行為を未然に防止することにより「世界一安全な国、日本」を構築

### 2.適正かつ公平に関税等を徴収する

約14.2兆円すなわち国税収入の約18.5%に相当する額を徴収する歳入官庁として、適正かつ公平に関税等を徴収

### 3.貿易の円滑化を進める

国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、民間企業との協力やIT化の推進などを通じ、通関手続を一層迅速化

税関職員は、**5**つの行動指針に則って、**3**つの使命遂行に取り組んでいます

## 税関職員の行動指針

1. 誠実に行動し、社会からの信頼と期待に応えます。

2. 誇りと使命感を持って、業務に取り組めます。

3. 円滑なコミュニケーションを図り、チームで前進します。

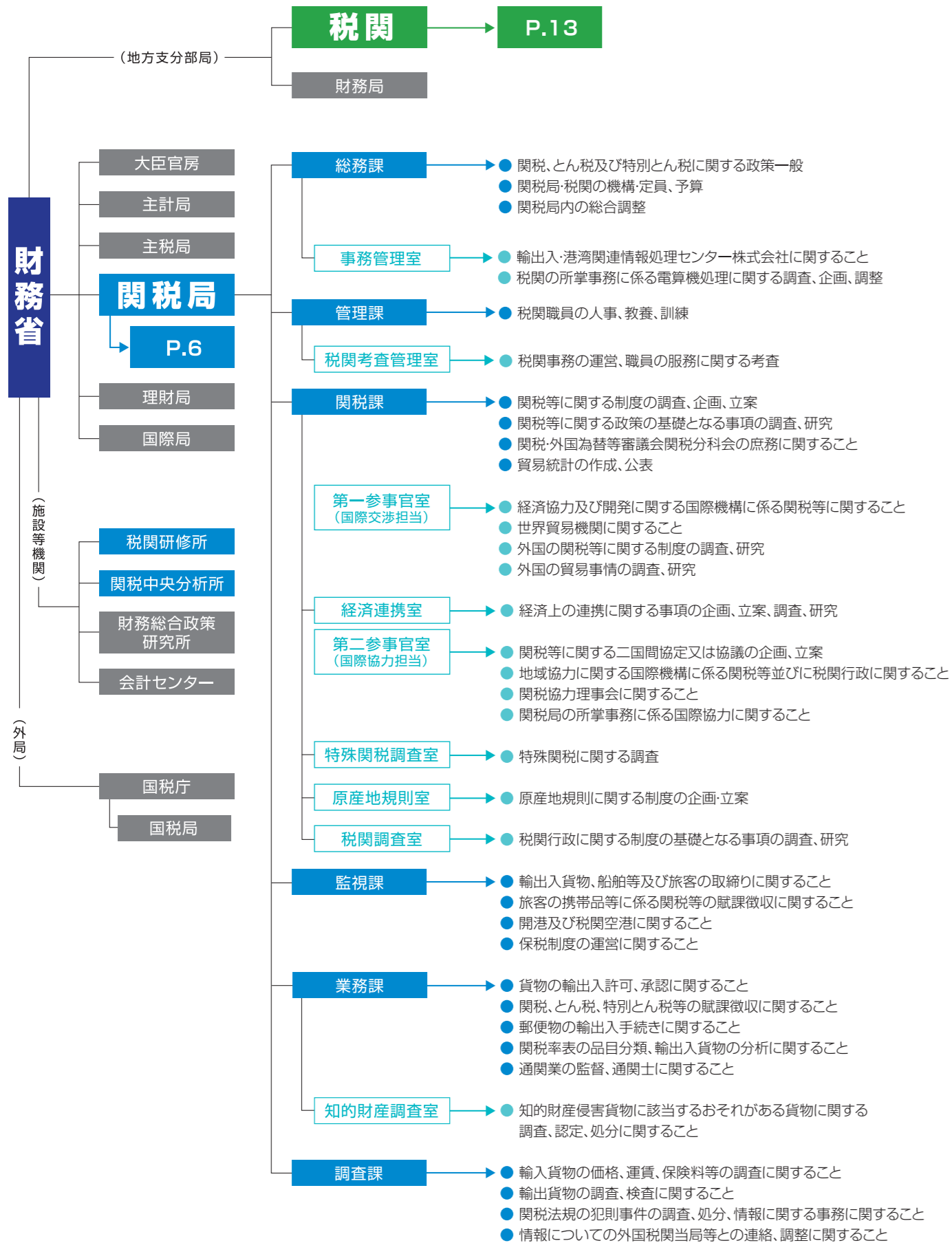
4. 改善意識を高め、日本と世界の変化に機敏に対応します。

5. 自ら学び考え、プロフェッショナルとして成長します。



# 財務省税関の組織

財務省税関の組織



# 業務紹介 財務省関税局

財務省関税局は、関税政策・税関行政の企画立案、諸外国との交渉・調整、途上国支援などの業務を通じ、直接的・間接的に税関の3つの使命の実現を目指しています。関税局が所掌する幅広い業務について、各担当職員からご紹介します。

業務紹介 財務省関税局



**関税政策 加藤 美帆** P.7  
協定交渉の現場から国内での協定の実施まで



**関税政策 川口 力也** P.8  
貿易の健全な発展を支える関税政策



**税関行政 北川 皓子** P.9  
世界をリードする税関であるために



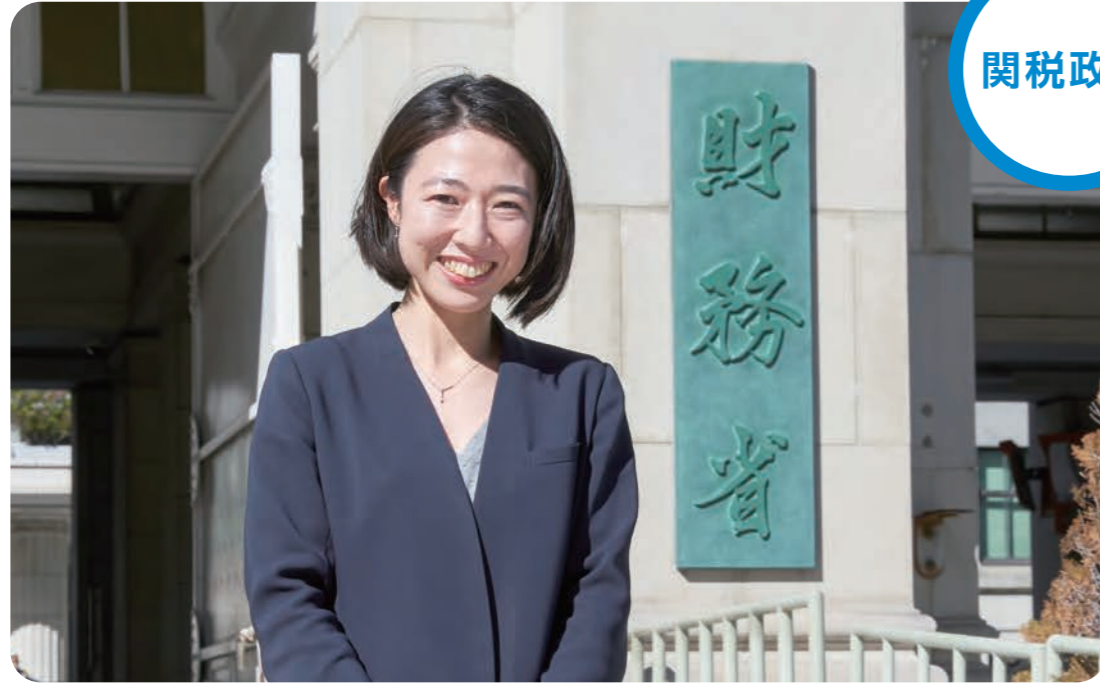
**税関行政 牧村 慎一** P.10  
税関行政の羅針盤として



**国際協力 松崎 貴弘** P.11  
国際協力の舞台裏



**国際交渉 出井 昌孝** P.12  
新たな経済連携協定交渉に臨む



関税政策

加藤 美帆  
KATO Miho

関税局 特殊関税調査室  
課長補佐  
【平成16年度入省 行政】



関税政策

川口 カ也  
KAWAGUCHI Rikiya

関税局 関税課  
上席調査官  
【平成24年度入省 理工】

## 協定交渉の現場から国内での協定の実施まで

### 特殊関税:特別な場合に高い関税を賦課する

私が現在担当している特殊関税制度とは、政府が、特定の品目の国内産業を保護する必要性を認める場合などに、輸入品に対して通常の関税以上の関税を賦課する制度です。具体的には、緊急関税(セーフガード)、相殺関税、不当廉売(アンチダンピング)関税、報復関税といったものがあり、近年は、太陽光パネルや電気自動車用蓄電池、医薬品といった、重要物資のサプライチェーン強化、経済安全保障の観点からも注目されています。関税の設定についてはWTO協定に詳細なルールが定められていますが、特殊関税は、一定の条件を満たせば、協定上約束した税率を時限的に引き上げてよいとする、協定上認められた各国の権利です。

半年前まで私は、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部で、WTOの会合に参加する外交官として仕事をしていました。WTOは、国際経済を規律する唯一の機関であり、同時に極めて政治的な側面を有しています。WTOを取り巻く状況はルール交渉の最盛期と大きく変わりましたが、現在もそういったダイナミズムの中で動いています。WTO協定の執行部門である財務省・特殊関税調査室では、このダイナミズムをしっかりと見極め、適正かつ効果的に措置を発動することが求められています。

### ワークライフバランスとは

これまで、職務上沢山の貴重な経験をしりましたが、4年間のジュネーブ勤務も公私共に充実したかけがえのないものでした。WTOで勤務する事務局員も各国代表部の外交官も皆優秀で、彼らとの日々のやりとりは決して容易ではありませんでしたが、刺激的で楽しいものでした。時に政治的に難しい問題を扱ったり、内部情報を聞き取ったりしなければならぬ外交官にとって、人間関係の構築は極めて重要です。そのため、しばしば国を代表する立場を離れて、「週末どうだった?」「休暇の計画は?」といった、個人的なキャッチアップを重ねます。こうして築き上げた関係性は今、仕事を超えて私の人生を豊かにしています。

霞が関勤務は4年ぶりですが、以前よりずいぶん働きやすくなったと感じます。テレワークの環境も整い、各々が自分にあったスタイルで仕事をしながら、趣味や自己研鑽、家族との時間など、日々の生活を充実させています。バランスは多種多様ですが、良い仕事は、日々の生活に充実感を与え、人生を豊かにするものだと思います。

### My Private Time

自分を完全にオフの状態に出来るのは、やはり家族や友人との時間、そして旅行です。音楽や絵画をゆっくり楽しんだり、大自然の中で思い切り体を動かしたりする時、美味しいお酒や食事を、気の合う友人や家族と楽しむとき、仕事から離れて本当に好きなものを思い出すような感覚を得られます。

人生を豊かにする勉強と読書の時間も、平日の隙間時間を利用して少しずつ増やしていきたいと思っています。



## 貿易の健全な発展を支える関税政策

### 関税政策を通じた貢献

関税とは、輸入品に課される税であり、国内産業保護を図る役割があります。一方で、関税が課せられると、輸入品の価格が上がり、消費者にとって輸入品が手に入りにくくなることも考えられます。関税課では、輸入品が国民生活と切り離せない中、税関の使命でもある貿易の健全な発展を支えられるよう、この関税の性質を考慮しながら、関税政策の企画・立案を実施しています。具体的には、各品目の関税率の見直しや輸出入に関わる関税制度の整備などについて、これらを規定している法律の改正によって政策を実現し、社会に貢献していきます。

実際の仕事の流れを簡単に紹介すると、まず、財務省内だけではなく政府内の関係府省庁と政策の効果などに関する議論を尽くして方向性を検討します。その後、外部の有識者で構成される関税・外国為替等審議会にてその方向性を固めていき、法律案を作成していきます。最終的に国会での審議を経て、法律案が成立することになります。関税政策は上述の通り、国内産業や貿易に与える影響が小さくないことから、その責任の大きさを日々実感しています。

### 社会の変化への対応

例えば、輸入品への関税率を検討する際、生産者と消費者の相反する利益がある中、全体

の利益が大きくなるように社会情勢を踏まえつつ議論を進めていきます。ただし、経済連携協定の締結、越境電子商取引の急速な拡大による国際物流の加速、DXの進展、AIの発展など、社会は大きな変化を続けており、今後もこの変化は、より速く、より大きくなるのが想像に難くないものです。社会に貢献できる時代に即した関税政策を実現していくためには、我々も変化を恐れず、新たな形を見出していくことがより一層重要に感じるとともに、財務省税関はこういった経験を培える職場です。

### 様々なフィールドでの活躍

税関総合職に採用されますと、関税政策の企画立案・法律の改正作業だけではなく、幅広い分野で活躍する機会が多く得られます。私自身も、経済連携協定などの国際交渉や出入国旅客の荷物の取締りに関する企画・立案(関税局)、マネーロンダリング・テロ資金供与への対応(国際局)、他省庁への出向(国土交通省)、英国留学など、様々な経験をこれまで積ませていただきました。急激に変化する社会の中で、国内外問わず多様な経験を積むことができる財務省税関は、組織とともに自分自身も大きく成長できる職場だと思います。

### My Private Time

より良い仕事をするためにも、オンオフのメリハリをしっかりとつけるようにしています。休みの日は普段の生活と切り替えるため、家族と近所の公園や神社に散歩するなど、ゆったりとした時間を過ごしています。また、自分のバックグラウンドが理系であることもあって、家の中では気晴らしにプログラミングの勉強を始めました。





税関行政

北川 皓子

KITAGAWA Hiroko

関税局 知的財産調査室  
上席調査官  
【平成26年度入省 経済】



税関行政

牧村 慎一

MAKIMURA Shinichi

関税局 監視課  
課長補佐  
【平成20年度入省 理工】

## 世界をリードする税関であるために

### 日本の知的財産侵害物品の水際取締り制度

私は、関税局業務課で、税関における知的財産侵害物品の水際取締りに関する施策の企画・立案を担当しています。日本税関は、関税法に基づき、輸出入されようとする貨物が特許権、商標権などの知的財産を侵害する貨物に該当するかを、権利者・輸出入者、双方の意見を聞いて判断しています。そして、侵害に該当すれば、貨物の没収・廃棄という強い行政処分を行うこととなります。諸外国では、この侵害の判断は裁判所で行うとしている国もありますが、日本では税関が判断を行います。税関に高度な専門性が要求されることとなりますが、その分、迅速な判断を行うことができ、日本税関は、高い差止め実績を誇っているところです。

ただ、世界をリードしていく税関であるためには、こうした制度設計に加えて、変化に対応していくことが不可欠です。近年、越境電子商取引によるBtoC取引により模倣品が輸入されることが多くなっています。関税局では、令和4年関税法改正により、個人使用のために輸入する模倣品であっても、「海外の事業者から郵送等で国内に持ち込まれるもの」は、商標権・意匠権侵害として税関の水際取締りの対象とすることにしました。変化に対応するため、こうした制度の見直しを行うことが、関税局の重要な業務です。

### 税関の現場と向き合う中で

ただし、新たな制度を円滑に実施するには、全国の税関の知的財産担当部門や、知的財産センター（専門分野について税関の統一的運用を担うセンター機構）と粘り強く調整し、具体的な運用を決めていく必要があります。例えば、越境電子商取引は単純な取引形態ばかりではないので、各取引の中のどの者を「海外の事業者」として認定し侵害の判断を行うのか、判断基準を積み上げ、それを税関の現場に共有する必要があります。

税関総合職は、若手のうちから関税局・税関の双方の部署を経験することとなります。私自身も税関で勤務した経験によって、税関から関税局がどのように見えているのか想像する力が養われ、今の自分の糧となっていると感じます。（といっても、税関の現場のカウンターパートは専門知識の豊富なプロフェッショナルな方ばかりで、まだまだ太刀打ちできませんが、追い込まれて必死で勉強するのもまた税関総合職の醍醐味だと思います。）

税関行政に関する制度の運用は、税関の現場の多くの職員、ひいては国民に広く影響することとなります。相手の立場で考えることのできる温かい方と、ぜひ一緒に働けたらと思っています。

### My Private Time

休日は、子どもと公園などに出かけます。平日時間がとれない分、自然の中で思い切り遊び、楽しい時間を共有できるように心がけています。仕事で上手くいかないときも、子どもと向き合うと元気が湧いてくるので、子どもはすごい存在だなと日々実感しています。といっても、子育ては思うとおりにならないことばかりなのですが、出勤すると気持ちが切り替わり、かえって悩みを忘れるので、仕事とPrivateどちらも自分にとって大事なものだと思っています。



## 税関行政の羅針盤として

### 将来の税関の姿をイメージして

2023年の訪日外客数は2,500万人を突破し、コロナ禍前の2019年比8割程度まで回復したことが発表されました。こうした数字の背後には、水際の最前線で様々なドラマが繰り広げられています。例えば、外国人旅行者向け消費税の免税制度ですが、税関においては、旅客が空港などで出国する際に免税品を所持しているかどうかの確認を実施しており、所持していなかった場合は、消費税の賦課決定を実施しています。令和4年度は、367件、約22億円の賦課決定に至り、制度の不正利用が問題となっています。

このような中で、令和6年度税制改正大綱において外国人旅行者向け免税制度の見直しが決定されました。今後、諸外国で採用されているような購入時には税込で販売し、出国時に持ち出しが確認された場合に消費税相当額が還付される方式へと移行することとなります。制度の詳細については、令和7年度税制改正大綱で結論を得ることとなっており、こうした制度の見直しは、税関のオペレーションにも大きな影響を与えるため、将来の税関の姿をイメージしながら制度面と執行面の両面から詳細を検討しているところです。

### 想像から実行へ

将来の税関の姿をイメージする上で欠かせないことは、様々なステークホルダーの視点です。税関は、航空会社、国土交通省、法務省、厚生労働省、農林水産省などの関係者と協力しながら水際取締りなどの業務を行っています。こうした関係者の視点も踏まえながら調整を行い、税関行政を円滑に進めることが求められています。

### 財務省税関を志す方へ

税関と聞くと海外旅行から帰国した時に黄色の携帯品申告書を提出して荷物の検査を受けるところというイメージでしょうか。このパンフレットを読まれた方は、税関が担う業務の幅広さや重要性について知るきっかけになったかと思います。今度はぜひ、直接、税関職員の声を聞いていただき、自分の将来像を描いてみてはいかがでしょうか。お待ちしております！

### My Private Time

休日は、家族との時間を大切にしています。最近、5歳になる娘はアニメに夢中で、映画化されると映画館へ、新しい本が出版されると書店へ、イベントがあるとその会場へと足を運び、日本のアニメ文化にどっぷり浸っています。その他、プールに行ったり、遊園地に行ったり、雪まつりに参加したりと、将来の娘の姿をイメージして、非日常を楽しむようになっています。





国際協力

松崎 貴弘  
MATSUZAKI Takahiro

関税局 第二参事官室  
上席調査官  
【平成24年度入省 理工】



国際交渉

出井 昌孝  
DEI Masataka

関税局 経済連携室  
課長補佐  
【平成16年度入省 経済】

国際協力の舞台裏

歴史と意義

国際協力の形は様々です。私たちが実施する「関税技術協力」の歴史を振り返ると、1970年に開発途上国税関を対象として実施した研修プログラムを皮切りに、世界税関機構(WCO)等の国際機関に拠出する資金を活用した独自のプログラムを始動するなど、順次そのスキームを拡大しながら約半世紀に渡り事業を展開してきました。また、アジア太平洋経済協力(APEC)などの緩やかな地域共同体を通じて、日本が有する知見・経験を各国に共有するとともに、最新の国際動向の把握に努めてきました。

開発途上国では、国家歳入のうち税関で徴収される税の割合が高い場合が多く、税関の徴税能力強化が経済の安定的発展に不可欠です。加えて、開発途上国税関における手続の調和・簡素化や密輸・テロ対策の強化がもたらす貿易円滑化やセキュリティ確保といった恩恵は、受益国に留まらず国際社会全体に及びます。このような特性を踏まえ、日本は関税技術協力のパイオニアとして、この分野の活動に貢献してきました。

未来に向けて

日本が支援活動を行うにあたって一貫して重きを置いてきたのは、支援対象国の個々の職員の能力をいかにして高めるかということです。このようなアプローチは、資金提供や物品

供与とは異なり、制度の構築や執行能力強化に直接貢献できるとともに、支援対象国との良好な関係構築に役立ちます。私自身、技術協力政策の協議や日本の知見・経験共有のため、国際会議に出席したり、パネリストとしてパネルディスカッションに参加する機会がありますが、日本の技術協力や知見・経験が高く評価されていることを肌で感じます。これは、この分野の活動に尽力してきた先人達の努力の賜物ですが、同時に今私たちがしている仕事がかつからの国際社会における日本への好意や信頼の基礎となるということも再認識します。

近年、新興国を始めとするかつて存在しなかったドナーの興隆によりドナー間の競争が熾烈化しており、日本の顔が見える支援を継続していくことが益々重要になっています。また、支援対象とする国々も、日本との経済的な結びつきの深さのみならず、地政学的重要性なども考慮しながら検討する必要が出てきています。このような環境変化を踏まえて、日本が果たすべき役割を果たしつつ、将来に渡る日本の国益と国際的地位を高めていく、そのための戦略を考えています。

私たちの職場

私は入省以降、財務省関税局にてWTO関連の国際交渉、税関関連のシステム構築、関税政策に係る広報、危機管理、関税関係法令の改正などに携わってきた他、神戸税関にて取締り、

通関、事後調査といった実務を経験しました。それぞれの職場での業務はどれも思い出深く、素晴らしい先輩や同僚に恵まれました。また、入省6年目には人事院の長期在外研究員として英国の大学院に留学する機会をいただき、公共政策学と法学の修士号(MScとLLM)を取得しました。どの経験もその後の業務に生きており、人として成長する機会と社会に貢献する機会にあふれる職場です。このパンフレットを手にとっていただいた皆さまに興味を持っていただけると嬉しく思います。

My Private Time

音楽が好きで、休日などに楽器を弾いています。とても奥が深く一進一退を繰り返していますが、一緒に練習してくれる子供の上達を励みに楽しんでいきます。



新たな経済連携協定交渉に臨む

国際交渉の舞台裏

特定の国・地域間での貿易を促進するため、輸出入にかかる関税の撤廃・削減などを約束したものがEPA(経済連携協定: Economic Partnership Agreement)です。日本では、2002年発効の日シンガポールEPAを皮切りに、これまで20本のEPAが発効しています。近年は、アジア太平洋の11ヵ国によるCPTPP(2018年12月発効)や、中国・韓国も参加するRCEP(2022年1月発効)など、複数国かつ大型のEPAの発効が相次ぎました。

財務省は、①関税制度、②税関行政、③財務省所管物資(酒類・たばこ・塩)を所管する立場からEPA交渉に参画しています。今後も、アジアラビアやアラブ首長国連邦など6ヵ国で構成するGCC(湾岸協力理事会)とのEPAなどが控えていますので、交渉の進展に貢献するとともに、EPAの円滑かつ適正な実施などを確保できるよう、入念に準備して交渉に臨みます。

経済連携室では、交渉のほかにも、輸出入者にEPAを使ってもらえるようEPA利用促進に向けた取組を進めています。動画コンテンツやリーフレットなどによる情報発信に力を入れているほか、輸出入者向けのセミナーなどで講演や意見交換を行っています。輸出入者との交流

では、教えるよりずっと多くのことを教えてもらっています。ここで得た知識が交渉で活かされることもあります。

記憶に残る業務経験

財務省税関に採用されると、前述の国際交渉のみならず、幅広い業務に携わることとなります。私自身の経験のうち思い出深いものを紹介します。中国・北京の大使館に向向していた3年間には、日本・中国の間に様々な大きな懸案が横たわる中、中国税関や中国に進出している日本企業とともに様々な活動に取り組みました。また、東日本大震災があった年には、貨物の通関業務を担当していました。被災地のために何か少しでも貢献したいとの想いをもちつつ、復旧復興のために必要な物資が円滑に通関されるよう努めました。この先も多様な課題に直面し乗り越えていくことになると思います。皆さんも財務省税関で記憶に残る業務を経験してみませんか。

My Private Time

働き始めたばかりの若かりし頃は、年末年始、ゴールデンウィークに夏休みと長期休暇のたびに海外旅行に行っていました。中国・北京に赴任したときは、地方都市も含め中国各地を訪問する機会を得ました。大阪税関で働いていたときは、関西一円の寺社仏閣などを巡りました。

最近は飼いネコの世話もあり遠出はしていませんが、近所のちょっとした名所旧跡をよく訪ねています。



税関は、水際の最前線での法執行を通じ、税関の三つの使命を実現しています。現場を指揮監督する部長から、各部の所掌やそれぞれの税関が取り組んでいる課題についてご紹介します。



**監視部 石川 陽一** P.14  
水際の最前線で安全・安心な社会を実現する



**業務部 鈴木 文浩** P.15  
みんなの笑顔のために



**調査部 加藤 誠** P.16  
バックスとフォワードの二刀流

監視部



**石川 陽一**  
ISHIKAWA Yoichi  
門司税関 監視部長  
【平成5年度入省 行政】

水際の最前線で安全・安心な社会を実現する

監視部の仕事

監視部では、3つの税関の使命のうち「安全・安心な社会を実現する」ことを主な目的として仕事をしています。具体的には、爆発物などのテロ関連物品の国内への流入を阻止するためのテロ対策や、覚醒剤や大麻といった不正薬物などの密輸取締りを主たる任務としています。税関の仕事と言うと、空港での旅客の手荷物の検査を思い浮かべる方が多いと思いますが、この検査は監視部の仕事です。また、海外から輸入される貨物は、旅客の手荷物のほかにも、航空機を利用して国際宅配便で運送される少量のものから、船舶を利用してコンテナで運送される大量のものまで、様々な運送手段・大きさ・量のものがあり、これらの貨物の水際の取締りも監視部の仕事になります。

こうした多様な貨物を効果的・効率的に検査するため、コンテナで運送される貨物については、コンテナに入ったままの状態でもコンテナごとX線検査を行うことができる装置を活用したり、不正薬物の密輸のおそれがある貨物については、貨物に付着した微量の不正薬物を検出することができる機器を活用するなど、貨物の大きさや検査の目的などに応じて検査装置・機器を使い分けて検査を行っています。

人流・物流の変化に的確に対応する

近年、越境電子商取引の拡大などに伴い、個人による小口貨物の輸入が急増しており、私が

勤務する門司税関の管内においても、令和5年から博多港や北九州空港で小口貨物の輸入が開始されています。また、福岡空港においては、新型コロナウイルス関係の水際措置の撤廃後、急速にインパウンドが回復し、入国旅客数はコロナ禍前を上回る状況となっています。このように輸入貨物や入国旅客が増加する中、迅速な通関と適切な水際取締りを両立させることが課題となっています。

小口貨物の輸入の増加に対しては、業務部・調査部とも連携して、短時間で多くの小口貨物のX線検査を行うことができる検査装置の導入や、検査を実施する必要がある貨物を絞り込む方策などについて検討を行っています。入国旅客の増加に対しては、福岡空港においては、入国旅客が電子申告ゲートを利用して税関手続きを行うことができますが、迅速な通関と適切な水際取締りの双方の観点から、電子申告ゲートを適正に運用する方策などについて検討を行っています。

これらの他にも、クルーズ船の旅客に対する取締りなど多くの課題がありますが、人流・物流の変化に的確に対応するため、日々取り組んでいます。

使命感を持つことができる職場

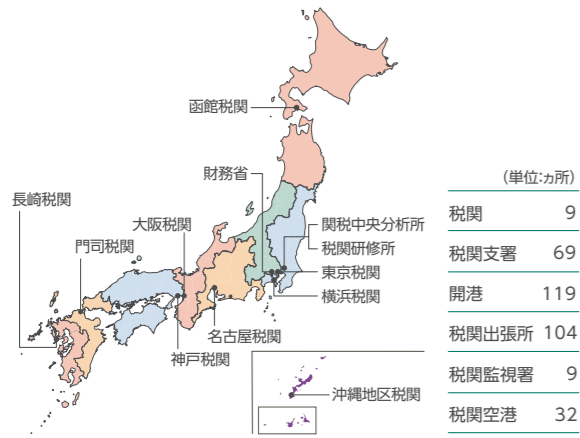
税関では、先端技術の活用を推進しており、検査のデジタル化、AIを活用した不正薬物検知の研究などの取り組みが進められています。

税関の仕事を実行するためには、国内外の情勢の変化に的確に対応するとともに、新たに開発される技術を活用することも必要であり、日々の学びが求められますが、使命感を持って仕事をすることができる職場です。税関の仕事にやりがいを感じることができる方と一緒に働くことを楽しみにしています。



税関 9税関 10,210人 ※令和6年度定員

- 総務部** 税関事務の総合調整、税関についての広報及び広聴
- 監視部** 船舶・航空機・輸出入貨物の取締り、旅客・乗組員の携帯品等の取締り・検査及び徴税、保税地域等の許可又は承認及び取締り
- 業務部** 輸出入貨物に係る審査・許可及び承認、輸入貨物に係る関税等の税率の適用・確定及び徴税、輸出入貨物の分析、国際郵便物の検査及び徴税
- 調査部** 輸出入された貨物に関する調査、犯則事件の調査及び処分、情報の管理及び分析、外国貿易統計の作成





業務部



鈴木 文浩

SUZUKI Fumihiko

東京税関  
業務部長  
【平成4年度入省 薬学】

調査部



加藤 誠

KATO Makoto

名古屋税関  
調査部長  
【平成3年度入省 法律】

みんなの笑顔のために

覚悟

10年前のこと。大企業A社はAEO\*の認定を受けるため、社長自らが来庁し、社員のモチベーション向上策や顧客管理の強化策などの認定に向けた取組について、私たち税関に熱く説明しました。

しかし、当時、A社はAEOを認定できる状況ではありませんでした。私たちは解決すべき点をはっきりと指摘し、その上で「貴社こそAEOのリーディングカンパニーになって頂きたい」とお願いをしました。たとえ相手が大企業の社長であってもひるまずに必要なことはしっかり求める。なぜなら、私たちには覚悟があるからです。「社会の安全・安心と貿易円滑化を両立させ、日本の国際競争力を高めるぞ!」という覚悟です。

そして、社長にも覚悟がありました。税関が求めるAEOの体制は組織の改編を伴うことがあり、大企業であれば容易ではないこともあります。しかし、「根本対策に取り組んで行く」と応えた社長は、たった1年で体制を整備し、税関の大切なパートナー「AEO事業者」として認定されたのです。

今後も、私たち税関と民間企業がともに覚悟を持ち、AEO事業者を一つずつ増やしていけば、一層安全で豊かな社会を実現させ、国民一人ひとりの幸せな未来を守っていけると、私は信じています。

税関審査は世界の平和にまで繋がっていく

貨物を輸出入する際には税関に申告して許可を受けることが必要です。業務部では、正しく申告されているか、不正薬物や知的財産侵害物品などの輸出入できない貨物はないかを審査し、安全・安心な社会の実現や経済の健全な発展に寄与しています。そして、輸入の場合は関税などが正しく納税されているかも確認したうえで許可します。

他にも、経済安全保障やロシアの規制対象品目ではないか、絶滅のおそれのある野生動物植物として規制されていないかなど、法令に基づき幅広い審査を行うことにより、世界の平和、野生動物植物の保護などにも貢献しています。必要に応じて梱包を開被して貨物そのものを確認する他、核磁気共鳴装置などの検査機器を用いて科学的な分析も行います。

しかし、すべての輸出入貨物について丁寧な審査をしていたら、日本の物流は滞ってしまいます。したがって、輸出入申告の99.9%がシステム(NACCS)で処理され、情報なども活用してメリハリのある審査を行っています。加えて、前述のAEO制度などにより、更なる貿易円滑化を図っています。

\*AEO(Authorized Economic Operator):貨物のセキュリティ確保と法令遵守の体制が整備された事業者に対し、税関手続の緩和・簡素化を提供する国際標準に則った制度。日本は2006年に導入し、700を超える事業者を認定。

楽 ～税関が気になっているあなたに～

私の場合、税関を起点として他省庁などにも出向し、国家公務員として様々な業務に携わることができました。正直、へとへとなったこともあります(働き方の意識が低かった昔の話)。しかし、覚悟を持ってやり切った後の充実感は格別です。そして、今、30年を振り返って思うこと。「楽しかった!」

いずれも、みんなの笑顔につながる仕事だったから。

知之者不如好之者  
好之者不如楽之者

(出典)論語 卷第三 雍也第六



ボックスとフォワードの二刀流

私服部隊の調査部

税関職員は皆、制服を着ていると思われているかもしれませんが、調査部の職員は職務の性質上、基本的に制服を着用せずに勤務しています。調査部の職務は、その名称から直ちに思い浮かべられることは難しいかもしれませんが、英語の名称(Post Clearance Audit, Investigation and Intelligence Division)には端的に示されています。

“Post Clearance Audit”は、直訳すると通関後の監査ですが、税関では事後調査と言います。主に輸入者/輸出者の事務所において帳簿書類などを調査して、一定の期間内に許可された輸入/輸出申告の適正性を事後に確認するものですが、輸入(税収確保)と輸出(経済安全保障など)では調査目的が異なります。“Investigation”は、犯則調査です。例えば、不正薬物の密輸の犯則事件に関与した者を法令に則って厳正に処分するための証拠収集などを行います。裁判官の発出する許可状によって捜索や差押えをすることも認められており、関係機関(警察、麻薬取締官、海上保安庁など)との共同調査も頻繁に行われています。

“Intelligence”は、情報です。税関各部の業務を通じて得られるものだけでなく、他機関や民間の方から入手するものや自ら収集するものなど様々な情報を分析・加工し、その結果を発信することにより、現場職員が膨大な数の輸出入申告や出入国旅客に適切に対応すること

を支援する最前線の業務と言えます。

この他、管轄地域に係る貿易統計の作成・公表も調査部が担当しています。

環境の変化への対応～課題かつ好機～

社会・経済における電子化の進展やICT(情報通信技術)の革新などの影響により、税関を取り巻く環境も大きく変化してきており、調査部においても適切な対応が求められています。

事後調査においては、紙媒体ではなく電磁的記録などにより保存されている帳簿書類(電子帳簿など)の増加を受けて、調査対象者が利用している個々のシステムに応じた効率的・効果的な調査を行っていく必要があります。犯則調査においては、密輸取引に関係する者間での連絡手段としてSNSが多用されてきており、犯則嫌疑者から押収したスマートフォンなどのデータを保全・解析・証拠化するデジタル・フォレンジック技術の活用が、厳正な処分を実現するためには欠かせなくなってきています。

以上の例は対象の変化を受けた受動的対応(守り)と言えますが、技術の進歩を積極的に業務に取り入れる能動的対応(攻め)も大切であり、特に情報の分野においては、情報収集へのウェブクロウリング技術の活用や情報分析へのAIの活用など、その余地が大きいと言えます。

環境の変化(Change)は課題(Challenge)だけでなく、業務改善の好機(Chance)ももたらしてくれます。

VUCA時代にはVUCAをもって

VUCA時代において、税関総合職として、また別のVUCA(下記)をもった皆さんが活躍されることを期待しています。

Validity(活力):課題への取組や困難の克服を支えるもの。

Uniqueness(独自性):自己の感性・見識を大切に(ただし、独善とならないように)。

Curiosity(好奇心):知識・能力向上の源。

Adaptability(適応性):様々な職場環境において自己の能力を発揮するための前提。



# 税関総合職のキャリアパス

税関総合職は、関税局・税関を中心に様々な部局を経験し、キャリアアップしていきます。それぞれの職員がどのような役割を担って仕事をしているのか、どのような経験をしたのかをご紹介します。



- 1～2年目** 財務省関税局にて関税政策・税関行政の基礎的な業務に従事します。
- 3～4年目** 税関に出向し税関の実務について経験を積みます。
- 5年目～** 現場の経験も活かしつつ、企画立案業務に携わります。
- 海外・国内への大学院等に留学し、国際的視野を養います。
- 企画立案業務において中心的な役割を担います。税関では、現場の管理者として勤務します。
- 重要事項の企画立案に携わります。税関では幹部として、今までの経験を基に、各部の課題解決に取り組みます。
- 各部局の責任者として、関税政策・税関行政の企画立案および業務執行を指揮します。
- 税関の最高責任者として、より効果的・効率的な税関行政が実現できるよう、税関全体のマネジメントを行います。

※キャリアパスは代表的なものであって、人事の方針によって今後変更の可能性があります。



**本田 晴夏**  
HONDA Haruka  
本省係員

関税局 第一参事官室  
国際調査第一係  
【令和4年度入省 行政】

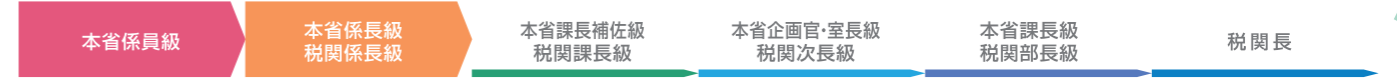
＜ 略歴 ＞  
令和 4年 4月 東京税関総務部人事課採用  
令和 4年 4月 関税局関税課法規係  
令和 5年 7月 関税局関税課(参事官室(国際交渉担当))国際調査第一係(現在に至る)

## 税関の国際交渉担当として

1年目に関税課で法改正を担当した後、2年目は国際交渉業務を所掌する第一参事官室に配属されました。中でも、日本税関と米国・カナダ・豪州・ニュージーランドの税関との協力や、それらの国との政府間交渉の関税制度に関する窓口を担当しております。現在携わっている業務の一つとして、日米税関当局間の合意に向けた調整があります。このような国際交渉は1年では結果が出ないということも少なくありません。異動が多い私たちにとって、単純に業務をしっかりと引き継ぐだけでなく、相手方との関係構築も非常に重要な要素です。内容によっては係員でも相手方と直接やり取りし、時にはレセプションに参加することもあります。このような機会を捉えて相手方とwin-winな関係を築けるような心がけています。

大きな交渉に限らず、他国税関や外務省などの他省庁から、日本の税関や関税制度に関する質問や依頼が日々やってきます。担当者に確認したり、場合によっては議論し、調整をお願いしたりしながら、日本税関・日本政府としての立場

を踏まえた対応を考えることが、国際交渉担当の仕事だと考えています。まだまだ経験が浅く、話が来てはじめてその分野について触れることも多いのですが、困った時には上司や先輩に相談しながら積極的に業務に当たっています。就職活動時を振り返ってみると、専門性を持ちつつ制度や執行に関する政策立案、国際関係など様々な分野を経験できるところに税関総合職への魅力を感じたことが思い出されますが、2年間働いてきてその魅力を強く実感しております。皆さまと一緒に働ける日をとても楽しみにしています。



**佐藤 賢太郎**  
SATO Kentaro  
税関係長

横浜税関 川崎外郵出張所  
統括審査官(通関第9部門担当)付審査官  
【令和3年度入省 法律】

＜ 略歴 ＞  
令和 3年 4月 東京税関総務部人事課採用  
令和 3年 4月 関税局調査課総括係  
令和 4年 7月 関税局関税課(参事官室(国際交渉担当))国際調査第一係  
令和 5年 7月 横浜税関監視部統括監視官(取締部門担当)付監視官  
令和 5年 10月 横浜税関川崎外郵出張所統括審査官(通関第9部門担当)付審査官(現在に至る)

## 水際取締りの最前線で、常に新しい経験を

入省後、約2年間財務省関税局で勤務し、その後現在横浜税関へ係長級職員として出向しています。関税局では、英国のCPT PP加入交渉といった国際業務や、課の窓口としての関係部署との調整業務を担当しましたが、税関現場の実務知識を必要とする場面が多々あり、実際に現場へ出向して経験を積みたいたい日々考えていました。その点、若手時代から出向の機会があることは税関総合職の魅力の一つだと感じています。

税関出向後の3か月間は監視部取締部門へ配属となり、主に外国貿易船の船内検査、港湾の巡回や国際クルーズ船旅客の携行品検査に従事しました。同部門は船舶及び旅客・乗組員の携行品の取締りをその主目的としており、前述の業務のほか、港湾関係者や乗組員に直接職務質問を行うなど、常に社会悪物品の流入阻止に向け緊張感のある対応が求められました。

現在は川崎外郵出張所通関部門に配属され、国際郵便物の検査や郵便物への課税業務を行っています。同出張所は本邦における国際郵便物の輸出入の多くを取り扱っており、検査装置などを用いて郵便物の検査を行っています。実際に郵便物から社会悪物品が発見されることも多く、監視部の現場経験と合わせて、水際取締りの最前線で勤務できることは得難い経験だと思います。

税関総合職は早くから多くの業務を担当でき、新しい知識・経験に絶えることはないと感じています。将来、熱意ある皆様とともに働けることを楽しみにしています。



**柳澤 直樹**  
YANAGISAWA Naoki  
本省係長

関税局 業務課  
総括係長  
【平成28年度入省 化学・生物・薬学】

＜ 略歴 ＞  
平成28年 4月 東京税関総務部人事課採用  
平成28年 4月 関税局関税課(原産地規則室)原産地規則第一係  
平成29年 7月 関税局調査課情報係  
平成30年 7月 横浜税関川崎外郵出張所統括審査官(通関第4部門担当)付審査官  
平成30年10月 横浜税関調査部統括管理官(検査第2部門担当)付管理官  
令和元年 7月 横浜税関調査部統括審査官(調査第6部門担当)付調査官  
令和 2年 1月 関税局関税課(経済連携室)経済連携第一係長  
令和 2年 7月 関税局管理課調査官  
令和 3年 9月 留学(米・カリフォルニア大学リバーサイド校)  
令和 5年 7月 関税局業務課総括係長(現在に至る)

## 幅広い経験を通じて成長できる職場

現在、税関の輸出入通関手続を所掌する関税局業務課において総括係長として勤務しています。業務課は関税局内でも係の数が多くですが、私はその中で業務課の窓口として他省庁や他課室、課内の調整業務を主に担当しています。課の中心となって動くことから責任も大きく、業務を遂行するために求められることも多いと考えます。例えば、スムーズな調整を行うためには、コミュニケーション能力はもちろんのこと、各係の業務内容をきちんと把握することが鍵となります。税関を取り巻く環境が日々変化の中で、各係の懸案事項を俯瞰的に見ることが求められます。これはなかなか大変ではありますが、同時に日々変動する環境の中で自らの視野を広げ、成長する絶好の機会でもあります。

これまでの係長級としての業務では、税関の現場での水際取締りや関税局での経済連携協定の交渉担当、採用担当業務に従事し、更に米国での留学の機会もいただきました。このような幅広い仕事を通じて、多岐にわたる知識や経験を身につけることができている。日々勉強で

はありますが、これらの知識と経験が現在の業務においても活かされており、また、今後、企画立案の中心的な役割を果たす際に有用なものになると確信しています。

今後もこれまでの経験を活かし、多角的な視点から税関行政に貢献するために、自身の更なる成長を追求したいと考えています。税関総合職は早くから多くの業務を担当でき、新しい知識・経験に絶えることはないと感じています。将来、熱意ある皆様とともに働けることを楽しみにしています。





**夏見 太揮**

NATSUMI Taiki

**留学**

海外留学（英国）  
【平成29年度入省 経済】

- ＜略歴＞
- 平成29年 4月 東京税関総務部人事課採用
  - 平成29年 4月 関税局業務課総括係
  - 平成30年 7月 関税局関税課企画第一係
  - 令和元年 7月 名古屋税関中部空港税関支署統括審査官(特別通関部門担当)付審査官
  - 令和 2年 1月 名古屋税関調査部統括審査官(輸入調査第6部門担当)付審査官
  - 令和 2年 7月 名古屋税関中部空港税関支署統括審査官(検査第2部門担当)付審査官
  - 令和 2年10月 名古屋税関中部空港税関支署統括審査官(検査第1部門担当)付審査官
  - 令和 3年 4月 名古屋税関中部空港税関支署統括審査官(貨物取扱部門担当)付審査官
  - 令和 3年 7月 個人情報保護委員会事務局企画第二係長
  - 令和 5年 7月 留学(英・ロンドン大学東洋アフリカ研究学院)
- (現在に至る)

**違いを学び、未来を創る**

現在、新興国の台頭や紛争などによって、世界情勢の不確実性が增大しています。その中で日本は、国際社会において関係各国との間で協力関係を構築・深化させるを通じ国益を維持・拡大していくことが求められています。

そうした状況を踏まえ、私は外国政府・国際機関との会議において交渉する力をつけるとともに、海外情勢を踏まえた国内制度設計を行うための視座を養うべく、英国・ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)に留学しています。具体的には、ただ授業を聴き論文を執筆するのではなく、例えば授業の一環で学生が政策決定者の役となり国際問題の解決を図るロールプレイを行うなど、学生側からも発信することが求められるカリキュラムの下勉学に勤しんでいます。私生活では、私はこれまで長期間海外に居住した経験がなかったため、寮での共同生活や英国の食べ物に慣れるまでに時間を要したほか、英語でのコミュニケーションに日々悪戦苦闘し

ていますが、幸い友人にも恵まれ穏やかな生活を送っています。

その友人ですが、留学先のコースはグローバルサウスを中心とした各国からの留学生が集う多国籍な環境であり、いずれの国出身の学生も、英語が堪能であるのみならず、プレゼンテーション能力がとても高くいつも驚かされています。行政官として業務に活きる知識・技能を取得できるのは勿論、より一般的な日本と外国の違い、自分ひいては日本が学ぶべきことを日々発見できる点が留学の醍醐味なのではないかと考えます。



**堀 直貴**

HORI Naoki

**本省補佐**

関税局 監視課  
課長補佐  
【平成22年度入省 経済】

- ＜略歴＞
- 平成22年 4月 東京税関総務部人事課採用
  - 平成22年 4月 関税局関税課(参事官室(国際調査担当))国際調査第一係
  - 平成22年 7月 関税局関税課(参事官室(国際調査担当))FTA担当
  - 平成23年 7月 関税局総務課企画係
  - 平成24年10月 大阪税関関西空港税関支署統括監視官(旅客通関部門担当)付監視官
  - 平成25年 4月 大臣官庁文書課企画調整室企画調整係長
  - 平成27年 4月 関税局関税課(参事官室(国際協力担当))鑑査専門官
  - 平成28年 7月 留学(英・ブリュッセル)
  - 平成29年 7月 関税局業務課総括係長
  - 平成30年 6月 外務省東南アジア諸国連合日本政府代表部二等書記官兼 在インドネシア日本国大使館 国際局開発政策課課長補佐
  - 令和 3年 7月 東京税関調査部国際情報センター室上席調査官
  - 令和 4年 7月 関税局監視課課長補佐
  - 令和 5年 7月 (現在に至る)

**水際取締りのあるべき姿を考える日々**

「税関」と聞くと、海外旅行から帰ってきたときに空港で受ける手荷物検査を思い浮かべる人も多いのではないでしょうか。私は現在、旅行者が出入国時に携帯する荷物や現金等の取締りに関する政策の企画・立案を担当しています。

「観光先進国」の実現という目標の下、日本は訪日外国人旅行者数を2030年までに6,000万人まで増やすことを掲げており、政府全体として様々な政策を駆使して目標達成に向けた取組を行っているところです。この数値目標は2015年の約3倍にあたることから、日本の玄関である空港などにおいて不正薬物等の社会悪物品の取締りを担っている税関にとって決して他人事ではありません。こうした将来的な見通しや中長期的な視点を持ちつつ、税関の取締りはどうあるべきか、答えのない難問に日々頭を悩ます毎日です。

課長補佐は担当分野のチームリーダーとして、部下職員(係長・係員)と協力・連携しながら

ら、その分野の政策の企画・立案を主体的に行う立場にあります。政策の原案作成に加え、幹部や上司への説明、省内外のステークホルダーとの調整、そして全体のスケジュール管理を主導する必要があるため、自分の意向を組織の意思決定に反映しやすくなる一方、その責任は必然的に大きくなります。求められる職責を果たすため、本省での勤務で得た知識や知見、税関の現場での経験、海外留学、在外公館への出向で培った経験などを総動員し、日々舞い込んでくる様々な問題の解決に向けて日々励んでいます。

財務省税関には行政官としての専門性を持ちながら多種多様な経験ができる環境があると思います。このパンフレットを手にとっているあなたが財務省税関の門戸を叩くのをお待ちしております。



**吉ヶ江 智咲子**

YOSHIGAE Chisako

**留学**

海外留学（米国）  
【平成29年度入省 法律】

- ＜略歴＞
- 平成29年 4月 東京税関総務部人事課採用
  - 平成29年 4月 関税局関税課(参事官室(国際協力担当))国際調整係
  - 平成30年 7月 関税局総務課企画係
  - 令和元年 7月 大阪税関関西空港税関支署統括審査官(特別通関第6部門担当)付審査官
  - 令和 2年 1月 大阪税関調査部特別関税調査官(調査第2担当)付審査官
  - 令和 2年 7月 大阪税関関西空港税関支署統括監視官(旅客通関部門担当)付監視官
  - 令和 2年10月 大阪税関関西空港税関支署統括審査官(検査第3部門担当)付監視官
  - 令和 3年 7月 関税局管理課調査官
  - 令和 4年 7月 関税局監視課鑑査専門官
  - 令和 5年 2月 関税局付 兼 外務省大臣官庁(G7サミット事務局主査)調査官
  - 令和 5年 8月 留学(米・カリフォルニア大学サンディエゴ校)
- (現在に至る)

**成長への挑戦**

2023年7月より、米国のカリフォルニア大学サンディエゴ校に留学しています。キャリアを積むなかで、今後行政官として必要なスキルを改めて学びたいと考えたこと、また、学部時代は歴史学を専攻しており、大学では学んでこなかった政策形成に必要な知識を身に着けたいと考えたことから公共政策を学んでいます。

現在は経済学や統計学や政策立案の基礎を中心に学んでおり、今後これらを実践的なプロジェクトに活かすことになります。また、同学は留学生も多く、各国政府からの派遣者や、民間企業出身者など、多様なバックグラウンドを持つ学生がいます。彼、彼女たちと交流することで、授業内のみならず授業外でもネットワークや見識が広がり、毎日が充実しています。

とはいえ、私は海外経験も少なく、生活はもちろん、慣れない英語での授業や課題、ディスカッションに悪戦苦闘しているのが実情です。新しく学ぶことも多く、忙しい日々ではありますが、それら全てを自身の成長の糧とすべく奮闘しています。

税関総合職は、成長を後押ししてくれる職場だと感じています。7年というキャリアのなかだけでも、関税局、税関、他省庁で多様な業務に携わり、今回の留学をはじめ、様々なチャンスがいただけてきました。そのどれもが、新しい業務や課題への挑戦、学びであったと感じています。留学での学びも今後の仕事に活かせるよう精一杯取り組んでいきたいと思っています。



**茂木 勇**

MOTEGI Isamu

**税関課長**

東京税関 総務部  
総務課長  
【平成15年度入省 法律】

- ＜略歴＞
- 平成15年 4月 東京税関総務部人事課採用
  - 平成15年 4月 関税局業務課総務係
  - 平成16年 7月 関税局総務課企画係
  - 平成17年11月 大阪税関関西空港税関支署統括監視官(旅客通関部門担当)付監視官
  - 平成19年 7月 大臣官庁文書課企画調整室企画調整係長
  - 平成20年 7月 法務省入国管理局入国在留課留学審査係長
  - 平成22年 7月 関税局監視課総括係長
  - 平成24年 4月 東京税関監視部統括監視官(検査第6部門担当)付監視官
  - 平成24年 7月 東京税関業務部統括審査官(特別通関第2部門担当)付審査官 兼 監視部
  - 平成24年12月 法務省入国管理局入国在留課留学審査係長
  - 平成25年 7月 関税局業務課(知的財産調査室)上席調査官
  - 平成26年 7月 内閣官房副長官補付(内閣官房TPP政府対策本部)上席調査官
  - 平成27年 7月 関税局総務課課長補佐(企画・広報)
  - 平成28年 6月 外務省在オーストラリア日本国大使館一等書記官
  - 令和元年 7月 関税局関税課(参事官室(国際協力担当))課長補佐
  - 令和 2年 7月 関税中央分析所総務課長
  - 令和 2年10月 大臣官房付 兼 内閣府府規制改革推進室参事官補佐
  - 令和 4年 7月 東京税関総務部総務課長
- (現在に至る)

**より良い税関行政を実現する**

税関行政においては、財務省(関税局)が制度・法令を策定し、全国9税関がそれを執行する役割を担っており、相互に連携を図っています。税関は、税関行政を執行・運用する機関であり、これまで3つの使命である、① 安全・安心な社会の実現、

②適正かつ公平な関税等の徴収、③貿易円滑化の推進を果たしてきました。

もちろん制度・法令だけで税関行政が執行・運用されるわけではなく、より良い行政の実現のために、「ひと」がそれを支えています。東京税関は、山形県、群馬県、埼玉県、千葉県(一部)、東京都、新潟県及び山梨県を管轄し、成田空港と羽田空港の2大空港を抱えるとともに、日本有数のコンテナ取扱量を誇る東京港に本拠を構えます。その膨大な行政需要に対応するため約3,200人ももの職員を擁しており、職員一人一人が輸出入貨物・旅客手荷物の通関業務や密輸の取締りなどのスペシャリストとして、組織的・一体的に連携しながら税関行政を支えています。

現在、私は東京税関で総務部総務課長を務め

ています。同課は、東京税関の運営に関する総合的な調整役を担っており、職員の体制の整備や職場環境の整備なども重要な仕事の一つです。これまで財務本省や関係省庁で制度・法令の策定業務に携わった経験も生かしなが、より良い税関行政を実現するための一員として、日々の業務に取り組んでいます。





## 本省室長

## 香川 里子

KAGAWA Satoko

関税局 経済連携室長  
【平成9年度入省 法律】

## 〈略歴〉

平成9年4月 東京税関総務部人事課採用  
平成11年7月 東京税関総務部国際情報センター室管理官  
関税局総務課税関調査室  
平成13年1月 東京税関業務統括審査官(通関第5部門担当)付主任  
平成13年7月 東京税関調査部統括審査官(調査第5部門担当)付調査官  
留学(米・バジニア大)  
平成14年7月 関税局関税課(参事官室)貿易機関第一係長  
平成18年7月 関税局関税課(経済連携) 上席調査官  
平成21年7月 東京税関調査部国際情報センター室長  
平成22年7月 東京税関調査部統括審査官(審理部門担当)  
平成24年4月 税関研修所研修-研究部教官  
平成24年7月 関税局関税課調査官  
平成25年7月 関税局関税課課長補佐  
平成26年7月 関税局調査課課長補佐  
平成28年7月 関税局監視課課長補佐  
平成29年7月 関税協力理事会(プレジデント)  
令和5年7月 関税局関税課経済連携室長  
(現在に至る)

## 多様な出会いと刺激に富んだ魅力的な職場

インテリジェンスに憧れて乳飲み子を抱えて  
東京税関調査部国際情報センター室長  
(Head of International Intelligence Office)

インテリジェンスに憧れて希望し、入省3年目に勤務となったものすぐに関税局に異動となった、幻の国際情報センター室勤務。時は過ぎ、育休取得後に国際情報センター室長となりました。国際情報センターでは、諸外国との密輸関連の情報交換などを実施しており、そこは英語、スペイン語、韓国語などが飛び交う異空間。乳飲み子を抱えているため自分が海外を飛び回る発想は捨て、優秀なメンバーに語学力を活かして多方面に海外出張していただき、私は在京の大使館に日々通い、海外からの来訪者は会議でおもてなし、とチーム全体で国際人脈の拡大に努めました。公用携帯を日々握りしめ、世界中から来るメールの山に目を通し、密輸情報も保育園の閉園時間も逃さない、という充実した日々でした。仕事の効率性の追求や、足で情報を得ること、チームに頼ることを覚えたのもこの頃でした。

凝り固まった頭を丸くする多様な出会い  
関税局監視課課長補佐(旅具担当)

「空と海が大好きなんです♪」という理由で財務省税関に入省した私がとうとう空港担当補佐に! 空港のテロ対策強化や訪日旅行者急増への対応のため、空港の税関業務の将来像を検討しました。全国の税関空港支署の若手職員でチームを作り、新千歳空港から那覇空港まで皆で出張し議論を重ね提言書を作成。最新技術にも目を向け、AI、機械学習、データ分析の活用など、民間専門家の方からヒヤリングを行い、米国税関や豪州国境庁と

意見交換し、税関内部の会議で何度も議論し青写真を描きました。国内外の官民の方、若手やベテランの方との出会いは凝り固まった頭を丸くし、白紙から検討した経験は物事のあるべき姿を考える際の基礎となっています。

財務省を飛び出して  
関税局経済連携室長

世界税関機構(WCO)で4年間勤務した後、経済連携室長として着任しました。過去同室の課長補佐として経済連携協定(EPA)の条文作成や制度検討などを行いましたが、現在、日本の貿易額の約8割はEPA締結国で占めるなどEPAは日本の貿易の中心となりつつあり、EPAの履行経験も蓄積され課題も見えてきています。そこで改めて民間企業の要望や税関の執行上の課題を丁寧に確認しながら、第二世代のEPAを目指し条文の一部見直す作業などを室内で行っています。また、20本のEPAの膨大な統計を分析するため、室内希望者はPhysonチームに参加し、更なるデータ解析能力向上に向けて研鑽しています。韓国税関とはEPA履行促進のため、セミナーに講師を派遣したり視察を実施したりと、協力しつつお互いの制度から刺激ももらっています。

EPA交渉は、税制としての適正性と利用者の簡便性、産業保護と自由貿易、貿易円滑化と不正貿易の取締、など、様々なニーズの中でいかにバランスを取っていくかが重要です。そのバランスには、国内外の様々な方から幅広く意見をいただき、議論を重ねることが必要と思っており、今年も財務省を飛び出して様々な方々と議論させていただこうかと考えています。

## 中々に戦略的な財務省税関のキャリアパス

経済連携室長は、国際交渉での交渉官や外部セミナーでの講師などの仕事があり、国際情報センター室長やWCOでの勤務経験が役立っています。また、条文の見直しや交渉に際し必要な税関や国際貿易実務の知識も、税関勤務、海外税関や民間の方との意見交換などを通じてある程度得られており、財務省税関のキャリアパスは中々に戦略的であると感じています。

国内外での多様に刺激的な出会い、持続的な自己成長、ライフワークバランスを求めるそのの貴方、是非財務省税関にいらしてください。想像もしていなかった扉が開くかもしれませんよ。



## 税関支署長

## 松田 真吾

MATSUDA Shingo

大阪税関  
関西空港税関支署長  
【平成4年度入省 水産】

## 〈略歴〉

平成4年4月 東京税関総務部人事課採用  
平成14年5月 外務省在シカゴ日本国総領事館領事  
関税局関税課(参事官室(監理調査担当))課長補佐  
平成17年7月 関税局業務課課長補佐  
平成19年7月 関税協力理事会(プレジデント)  
平成21年7月 関税局調査課課長補佐  
平成24年8月 東京税関業務部統括原産地調査官  
平成25年7月 大臣官房専門調査官 兼 関税局管理課  
関税局関税課国際協力専門官  
平成28年7月 関税局監視課課長補佐  
平成29年6月 関税局関税課原産地規則室長  
令和2年7月 関税局関税課特殊関税調査室長  
令和3年7月 関税局関税課経済連携室長  
令和4年7月 大阪税関関西空港税関支署長  
令和5年7月 (現在に至る)

## ピンチにもサポートあり! チームで仕事の団体戦!

## 窮地の際に…

## 本省課長補佐級

第1回日中韓関税当局長官会議の担当(国際関係補佐)の際、谷垣財務大臣(当時)と戦後初来日の中国税関の長官(海関総署長)、韓国税関の長官の面会を準備することになりました。会議も含め連日の準備作業を経て、当日、中国勢・韓国勢が無事来日しましたが、2時間前になって中国は大臣面会をキャンセル。想定外でどう回すか突然とする私を前に、局長や上司は冷静にさばいて下さいました。また、業務担当(執行関係補佐)の際には、米国税関との間で税関マター(AEO相互承認)について、ワシントンDCにて、数日にわたり当局同士の交渉を行いました。しかし、大揉めに揉めて、文字通り会議室から出て行ってしまふ米国税関の交渉相手。途方に暮れましたが、その後、同僚と上司の支援を得てリカバーし、無事交渉はまとまりました。

## 就任直後のピンチに…

## 本省室長級

EPA関係(原産地規則)の交渉官として赴任直後(着任日翌日の夜)、英国との交渉のため、政府の一員として外務省の会議室にいる私がおりました。当然、業務は良く分かっておらず、最新の状況にも不案内でかなり無理がありました。同僚とチーム、さらに異動前のチームの方にも支えてもらい、何とか対応することができました。また、特殊関税の担当室長の際は、赴任の翌週からアンチダンピング関税に係る関税分科会委員へご説明することに。相手方にはアンチダンピングに係る論文を複数有する教授職(専門家)の方もおられ、冷や汗一杯でご説明しました。全体的にチームや上

司に支えていただくとともに、異動前のチームの方にも万全の準備とご協力をいただき何とか委員のご了解を得て無事に政令発出となりました。

社会正義を追求する職場  
大阪税関関西空港税関支署長

関空は職員570名超の大規模の大官署です。大別して、旅客系、貨物系、関税犯則系、総務・管理系に分けられ、その中には、監視取締、情報管理、収納(徴収)、広報なども含まれるので、事後調査(税務調査)以外、航空中心ではありませんが、およそ税関の機能は所掌しています。先人の努力の積み重ねの成果もあり、着任直後から関空史上最大の覚醒剤の摘発、また、最近では、これも関空史上最大の金の密輸の摘発など、社会に貢献する税関を現場でダイレクトかつダイナミックに実感するとともに、税関という組織の責任の重さに身が引き締まります。

関空で働いている税関総合職は今、私と3年目の女性職員の2名です。私自身は初の空港勤務、初の関西暮らし、10年ぶりの税関勤務で、当初は、現場(関西)で「あたりまえ」の基本的なことも知らず、経験不足で周りに負担をかけましたが、社会正義を追求する職場で貢献したいという想いは共通です。全面的にサポートいただき、今はチーム関空の一員として邁進しています。過去の経験不足は、一方では、思い込み、しがらみ、不合理な慣性などに縛られないカイゼンにもつながり得ます。空港を巡る情勢変化への対応のため、実力者の関空税関幹部陣や優秀な管理職、職員と、社会正義の追求のためにそれぞれ知恵を出し合い、汗をかくことは職業人として無常の喜びを感じます。

## 失敗を越えて…

何度も失敗し、冷や汗をかきました。恥づかしい思いも沢山しました。その度、上司/同僚/チームに支えられました。税関はサポートし合う団体戦の職場です。課題は多く、対応は容易ではありませんが、社会正義を追求する(それを実感する)職場で、「面白さ」が多いと感じます。サポートしあって、失敗を乗り越えていく、そんな良きチームで国の仕事に携わりたい、国に貢献したいと思われる方は、是非、門を叩いてもらえればと思います。



※ 空港での密輸撲滅キャンペーンにて

本省課長

馬場 義郎

BABA Yoshiro

関税局 監視課長  
【平成元年度入省 化学】

〈略歴〉  
平成元年 4月 東京税関総務部人事課採用  
平成10年 7月 関税協力理事会(ブリュッセル)  
平成13年 7月 国際開発政策課課長補佐  
平成15年 7月 関税局調査課課長補佐  
平成16年 7月 関税協力理事会(ブリュッセル)  
平成21年 7月 関税局監視課課長補佐  
平成22年 7月 東京税関業務部総括知的財産調査官  
平成23年 7月 関税局関税課国際協力専門官  
平成25年 7月 客員研究員(米・プリンストン大学)  
平成26年 6月 関税協力理事会(ブリュッセル)  
平成29年 7月 関税局関税課税関調査室長  
令和元年 7月 東京税関税関情報監理官  
令和 3年 7月 東京税関成田税関支署長  
令和 4年 7月 関税局調査課長  
令和 5年 7月 関税局監視課長  
(現在に至る)



税関長

升平 弘美

MASUHIRA Hiromi

神戸税関長  
【平成2年度入省 化学】

〈略歴〉  
平成 2年 4月 東京税関総務部人事課採用  
平成13年 7月 関税局調査課調査専門官 兼 関税局総務課  
国際開発政策課課長補佐  
平成14年 7月 国際開発政策課課長補佐  
平成16年 7月 関税局調査課(税関調査室)課長補佐 兼 関税局総務課  
平成17年 7月 関税局総務課課長補佐  
平成18年 7月 関税局業務課課長補佐  
平成20年 7月 関税局業務課課長補佐  
平成21年 7月 横浜税関調査部管理課長  
平成22年 7月 横浜税関調査部管理課長  
平成23年 7月 関税局業務課関税評価専門官 兼 関税局監視課  
平成24年 7月 東京税関業務部総括知的財産調査官 兼 関税局業務課  
名古屋税関西部出張所次長  
平成25年 7月 大臣官房文書課政策評価室長  
平成26年 7月 名古屋税関監視部次長  
平成28年 7月 名古屋税関監視部次長  
平成30年 7月 関税局関税課特殊関税調査室長  
令和元年 7月 長崎税関監視部長  
令和 2年 7月 大阪税関関西空港税関支署長  
令和 4年 7月 関税中央分析所長  
令和 5年 7月 神戸税関長  
(現在に至る)



積める経験、膨大なデータ活用、そして世界最先端の税関へ

予想を超えてきた海外勤務

世界税関機構(WCO)事務局職員

入省前、海外勤務の可能性も示唆され、一度は経験できればと思っていました。

これまで計5回、11年の海外勤務を経験、その多くを世界税関機構(WCO)@ベルギーで過ごしました。訪問国も80カ国近く。専ら途上国税関への技術支援関連ですが、その際、さまざまな人に出会い、教えるというよりも一緒に考えました。私自身にも経験や知識が蓄積し、各国税関の発展のために一緒に取り組みました。例えば、WCO職員になるにも途上国税関職員にはその可能性はほばないに等しい状況で、「機会」の提供が切望されていました。そこで考えたのが日本の支援によるいわゆるインターンシッププログラム(Career Development Programme)の創設です。多難はありましたが、今では、このプログラムにも各国から125名ほどの職員が参加し、WCO事務局に採用され重要なポストに就く職員を輩出するまでとなりました。このように何かを変え、作ることに直接関与でき、その評価も目に見える形で受けられるのは、私にとっても貴重な経験、財産となっています。

税関のインテリジェンス、頭脳集団

税関情報監理官

全国の税関の唯一の情報部門として、税関が日々扱う輸出入貨物や旅客などの膨大な情報やデータを活用しつつ、税関の通関や取締りといったそれぞれの機能をバックアップする部署がありますが、この組織のトップが税関情報監理官。着任

当時は、ちょうどAIなどが再び脚光を集めはじめたころでした。データ解析を専門とするチームがありましたが、このチームを中心により先進的な水際取締りを目指し積極的にAIをはじめ先端技術の活用を推し進めました。そのための「人材」も欠かさないところ、外部専門家の協力も得つつ、職員の中でギークを生み出す活動を、号令をかけ自らも資格を取得し、見せつつ、推進しました。その際、一緒に頑張った職員が今では税関が抱える課題をAIなどを駆使して見事に解決していく様を見ると、とても心強く思います。

水際で安全・安心を守る、利用者目線も関税局監視課長

関税局監視課は、日本の玄関である海、空の港における税関の取締り、例えば不正薬物などの密輸を水際で阻止する、このような役割を担っています。身近なところでは、空港での税関検査や麻薬探知犬などがその代表例でしょうか。最近、特に取り組んでいることは、コロナ禍後、外国人旅行者が急激に増加しており、空港やクルーズ船ターミナルなどでの税関業務をデータ活用などを通じ一層効率的、効果的に行う必要があります。ご覧になられた方もいるかもしれませんが、例えば、空港での電子申告ゲートは便利になる一方まだ課題も多くあります。現在は入国管理庁とも協力をして、先端技術を駆使し入国手続きをワンストップで行う試みもはじめました。旅行者などが直接接する業務の運営を担当しており、成功も失敗も自らにかかっており、身が引き締まる思いで日々業務を行っています。

予想を超えるダイナミックさ

— 世界最先端の税関に

採用から30年超が過ぎましたが、国内にとどまらず海外も含めダイナミックな仕事ができる職場だと感じています。税関は、ヒト、モノ、マネーが行きかう交差点、そして膨大なデータ・情報の宝庫であり、これからいかにその膨大なデータ・情報を活用して、いかに将来の日本の社会の安全安心を守り、そして産業経済に貢献していくか問われていると思います。ぜひ、皆さんの力をこの職場で存分に発揮されませんか。



振り返ると

昨今、キャリアパスとされるものがしばしば変わり、加えて状況の変化に鑑みれば、今後も更に変わっていくかと思えます。そこで、これまでに必要と感じたスキルや経験などについて記してみます。

(1) 全体最適

課長補佐くらいまでは、自分の所掌に注力し、そこで良いものを作り上げることに集中していれば、かなりの部分は事足りますが、更に上位職位となり、所掌範囲が広がるにつれ、その中で相反する部分が出てきます。そのため、部分最適から全体最適に思考の軸足を移し、それを踏まえて企画・調整し、内容を再構築することがより必要となります。

他組織との関係においても、自己のみならず相手方の主張も含めて検討し、全体の利益の最大化を図ることが鍵となり、それが相手方の理解を得ることにもつながるか。とはいえ、それだけで必ずしもキレイに話がまとまるとは限らず、苦悩・苦闘することも日常茶飯事です。

(2) 兵は拙速を貴ぶ

時は流れ、逐次状況は変化します。現場では、検討を繰り返したとしても必ずしも万全になるとは限らず、特に前例がない場合には、得られた情報を基に初手を打ち、順次得られた情報を踏まえて次手を考え、軌道修正しながら進まざるを得ません。ご存じの通り、新型コロナへの対応がその典型例でした。また事件・事故への対応も、これに近いものです。このように状況が刻々と変化する場合、絶えず情報収集を行い、次策を考え、順次実施する、という事を短い周期で繰り返すことが必要であり、佇んでいては状況に遅れます。

しかしながら、このような作業を続けることは、かなり「強られる」ものかと思えます。幸か不幸か、過去、このような経験が割とあり、今思えばそれが図らずも役に立ったようです。

(3) 方法論の確立

遭遇する事案は数多く、検討すべき内容も多岐にわたります。このため、毎回、新たな検討法を探ることは困難であると共に、方法論を変えていくは目線が動き、成果物にブレが生じます。方法論を確立していれば、それに張り付ける部品を変えることで多くの場合、対応可能であり、その結果、ブレも抑えられることに。人はまずもって方法論を身に付けてはいますが、それを明確に意識していないことが多く、その結果、方法論が揺れることがあります。職位が上がるにつれ、こういった揺れは判断や結論に大きなブレや波を生じさせることがあるため、早めの認識が肝要です。

(4) プレイヤー、そして脱プレイヤー

経験を重ねると事案への対応が上手になり、良い判断が増えます。いわばプレイヤーとしての腕前が上がったところ。しかしプレイヤーであれば、基本、一つの役割しかこなせません。サッカーであれば、ゴールキーパーがミッドフィールダーやフォワードを兼ねることが出来ないのと同じです。しかし、監督であればどうでしょうか。ゴールキーパーとも、ミッドフィールダーとも、フォワードとも話をし、戦略や戦術などその意図することを伝え、浸透させることにより、より多くの役割を果たすことが可能となります。

しかしながら、これはストレスが溜まるもので

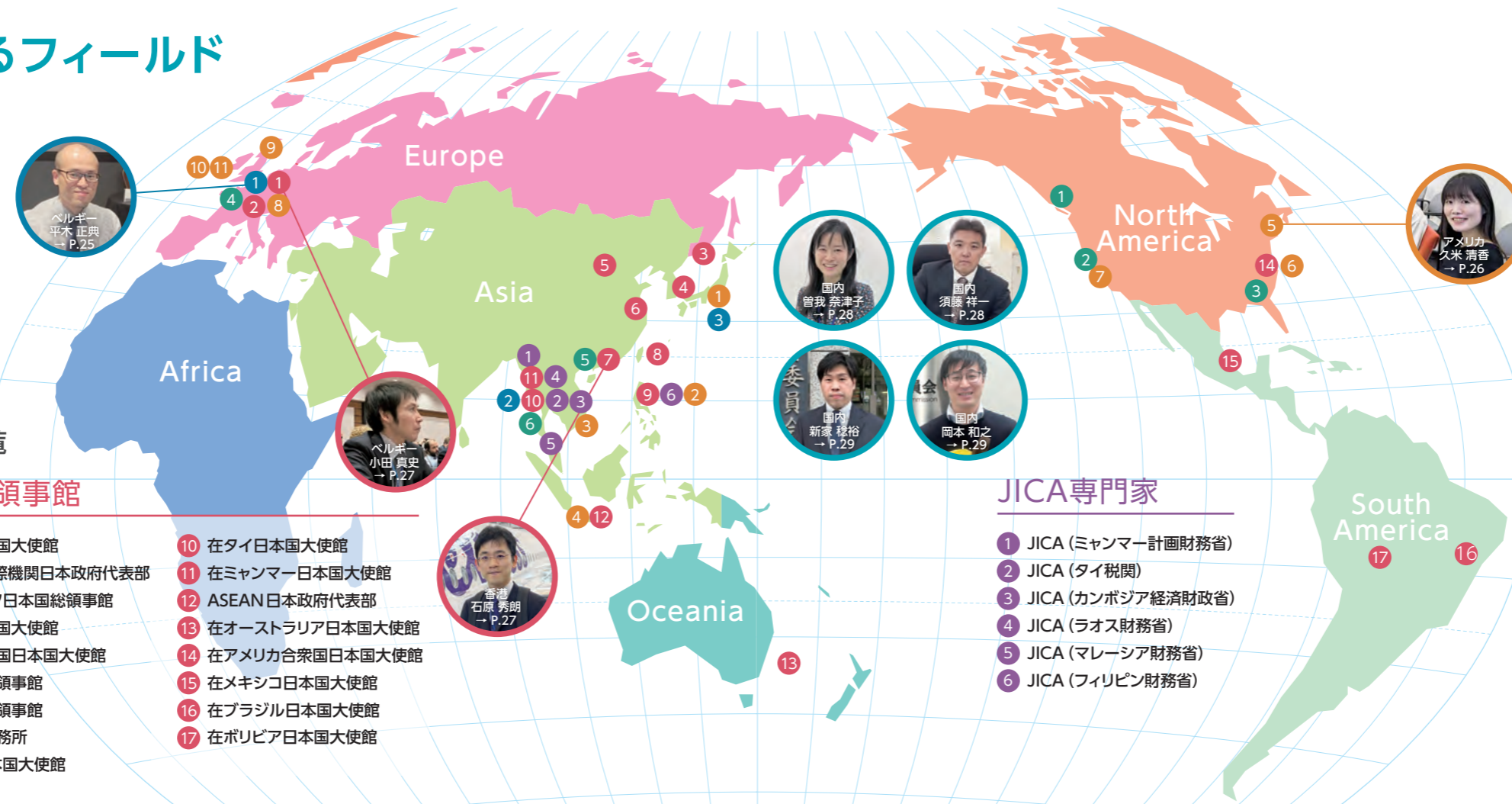
す。人に意図を100%伝えるのは難しく、大まかな事を伝えるのでかなり苦労します。事案対応にあたり、自分でやってしまいたい、と思った事は何度あったことやら。プレイヤーとしての感覚を保ちつつ、脱プレイヤーを、と言うのは、必ず自分に戻ってくるブーメランを投げるのにも等しく、苦笑せざるを得ません。

自分自身、公務員という選択肢を考えた頃、公務員となり多少の経験を重ねた頃、そして今現在と、いずれを比較しても、状況は勿論、見ていたモノや考えていたコトが異なります。したがって、ここに記したことがどう受け取られ、役立つかは分かりませんが、せめて一助となれば幸いです。



# 税関総合職の活躍するフィールド

税関総合職職員の活躍の場は、他省庁はもちろん、世界にまで広がっています。関税局・税関とは異なる環境に身を置く職員から、現在の業務などについて紹介します。



## 財務省・税関 主な海外ポスト一覧

### WCO関係

- 1 WCO(ブリュッセル)
- 2 WCO/ROCB(タイ)
- 3 WCO/RILO(東京)

### 大使館/総領事館

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1 在ベルギー日本国大使館       | 10 在タイ日本国大使館      |
| 2 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部 | 11 在ミャンマー日本国大使館   |
| 3 在ウラジオストク日本国総領事館   | 12 ASEAN日本政府代表部   |
| 4 在大韓民国日本国大使館       | 13 在オーストラリア日本国大使館 |
| 5 在中華人民共和国日本国大使館    | 14 在アメリカ合衆国日本国大使館 |
| 6 在上海日本国総領事館        | 15 在メキシコ日本国大使館    |
| 7 在香港日本国総領事館        | 16 在ブラジル日本国大使館    |
| 8 交流協会台北事務所         | 17 在ボリビア日本国大使館    |
| 9 在フィリピン日本国大使館      |                   |

### JICA専門家

- 1 JICA(ミャンマー計画財務省)
- 2 JICA(タイ税関)
- 3 JICA(カンボジア経済財政省)
- 4 JICA(ラオス財務省)
- 5 JICA(マレーシア財務省)
- 6 JICA(フィリピン財務省)

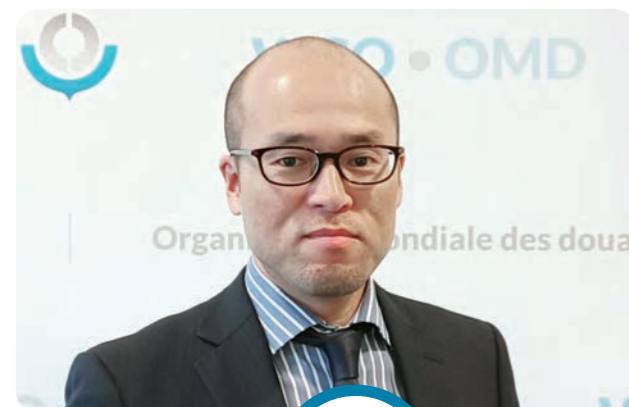
# 税関総合職の活躍するフィールド

## 長期出張者

- 1 長期出張(バンクーバー)
- 2 長期出張(ロサンゼルス)
- 3 長期出張(バージニア)
- 4 長期出張(ドイツ)
- 5 長期出張(香港)
- 6 長期出張(タイ)

## その他

- 1 政策研究大学院大学
- 2 アジア開発銀行(フィリピン)
- 3 JETRO(ホーチミン事務所)
- 4 JETRO(ジャカルタ事務所)
- 5 ハーバード大学
- 6 ジョーンズ・ホプキンス大学
- 7 カリフォルニア大学
- 8 中央ヨーロッパ大学
- 9 エディンバラ大学
- 10 ブリストル大学
- 11 ロンドン大学



## 平木 正典

HIRAKI Masanori  
世界税関機構(WCO)  
【平成18年度入省 理工】

国際機関

## 多様な仕事とキャリア

18年前、官庁訪問で面接官の話を伺い、税関の仕事の多様性に心惹かれて入職しましたが、実際にキャリアを積み重ねる中で、想像もしていなかった経験を数多くさせていただきました。

関税局では、長年、経済連携協定の交渉に携わり、財務省所管物資(酒、たばこ、塩)の税率交渉や、関税制度を担う当局として協定の法的な確認作業などを担いました。日米貿易協定の交渉では、前代未聞のハイスピードで交渉が進む中、それまでのすべての経験と知識をいかして、その一部に貢献できたとの充実感がありました。

在ベルギー大使館に出向していた2018年には、WCO事務総局長選挙に携わることに。御厨事務総局長の三選に向けて、各国に働きかけを行いました。激しい選挙戦でしたが、ある国の大使は、対立候補の影響が強い地域にありながら、「御厨事務総局長は、私たちの国にまで足を運んで、地域の発展のために尽力してください」と心からの支持を表明してくれました。他にも、アフリカをはじめ、多くの国が日本

からの長年にわたる支援に感謝している姿が印象的でした。

そして今、WCO事務局の職員として、密輸対策の情報分析を担っています。AI等の先端技術を使って、いかにデータ分析の能力を向上するか、加盟各国の専門家と意見交換し、議論を進めています。ここにきて、自分の理数系のバックグラウンドがいかされることになり、さらに充実感を感じています。安心・安全な社会の実現へ、力の限り貢献して参りたいと思います。



## 久米 清香

KUME Sayaka  
ハーバード大学  
国際問題研究所 客員研究員  
【平成20年度入省 法律】

海外客員研究員

## 研究と実務

2023年の夏からハーバード大学のウェザーヘッドセンター日米関係プログラムに客員研究員として派遣いただいています。これほど恵まれた環境で勉強ができることに感謝して、研究の他、米中関係も含むグローバルイゼーションなど、

政治、経済様々な授業をとっています。教授陣は研究者として一流であるのみならず、政府の要職等の実務経験が豊富な方も多く、講義のたびに目が開かれる思いです。

プログラム主催のセミナーも充実していて、米日の著名な研究者、実務者と意見交換をする機会にも恵まれています。また、これまでの業務経験をもとに授業でゲストスピーカーを務める機会もいただきました。こうした機会や、教授や同僚である研究者や実務者との議論は非常に刺激的で、自分の不勉強さを思い知らされることも少なくありませんが、勉強とともに貢献もできればと思います。

米国では意見の対立や二極化が中東での戦争以降特に顕著で大学も例外ではありませんが、相手の意見に耳を傾ける姿勢が失われて

いないことに救いを感じます。

日々の業務に追われてばかりいると全体を見渡すことが難しくなりがちですが、ここでは自分の仕事が必要な政策のどの部分を構成しているのか、長いスパン、また広い視野で捉え直すことができます。新しい知識を得たり、新しい考え方を知ったりすることそのものが喜びではありますが、微力ながら政策に反映していける立場で勉強できることが幸せだと思えます。





小田 真史

ODA Shinji

外務省在ベルギー 日本国大使館  
一等書記官  
【平成17年度入省 法律】

在外公館



「税関の専門家」である「外交官」として

私はいま在ベルギー日本国大使館の一等書記官として勤務しています。世界にはそれぞれの専門分野を扱う国際機関が各種存在しますが、ここブリュッセルには、税関の国際機関である世界税関機構(WCO: World Customs Organization)があります。世界各国の税関の専門家が、私と同様に大使館に身分を置き、この地で連日に行われる国際会議に専門家の視点から参画しています。

社会の変化は目まぐるしいものがあります。越境電子商取引の拡大により小口貨物の取引が急増、税関の申告件数はうなぎのぼりです。デジタル化の加速は、多くのデータを我々にもたらし、ブロックチェーンやAIといったテクノロジーの発展は大きな可能性を示唆しています。と同時に、薬物の密輸やテロを行う犯罪組織もそうしたテクノロジーを悪用する道を常に探っています。

こうした世界の変容に対する税関としての答え、各国にとって有益な指針となるスタンダードの策定のための議論を、日々、各国からの専門家と膝を突き合わせて行っています。時に制度の違い、方向性の違いなどから大激論となることもありますが、これも醍醐味の一つです。税関自身、社会の変化を常に身近に感じる職場ではありますが、海外に出て、世界の自分と似たような立場の人々と一緒に仕事をすると、より一層感じるところです。こうしたダイナミックで常に刺激を感じられる職を求めている方は、一度、税関の門を叩いてみては如何でしょうか。



石原 秀朗

ISHIHARA Hideaki

在香港日本国総領事館 領事  
【平成25年度入省 法律】

在外公館

在香港日本国総領事館領事として

**組織概要**  
総領事館は、外務省に置かれる在外公館の一種であり、世界の主要な都市に置かれ、その地方の在留邦人の保護、通商問題の処理、政治・経済その他の情報の収集、日本を正しく理解してもらうための広報文化活動などの仕事を行っています。在香港日本国総領事館は、香港に置かれ、管轄地域は香港及びマカオとなっています。

**担当分野・業務内容**  
私は、経済・金融政策、財政・予算、金融・税制、観光・運輸、酒・たばこ、税関行政などの幅広い分野を担当しています。これらの分野において、邦人や日本企業に対する支援、各種問題の処理、情報の収集、日本の国際友好関係の促進に向けた諸活動、公用出張者に対する支援などの様々な業務を行っています。業務を行う中で、各省庁や地方自治体、企業や団体、政府当局、他国の在外公館、個人などの色々な主体と接する機会も多くあります。

私が担当した業務の一例として、在香港日本

国総領事公邸における焼酎・泡盛PRイベントを地方自治体の当地事務所と共同して企画・実施したことなどがあります。

**税関総合職**  
税関総合職は、財務省関税局や各税関での関税政策・税関行政の企画立案や運営を中心に、省内他部局、他省庁、在外公館や国際機関での多種多様な業務など、国内外の幅広いフィールドで活躍することができます。

税関の3つの使命を含む公務に対する強い関心のある方、全体の奉仕者として働く熱意のある方、様々な経験などを通じて知識・能力を向上させることのできる資質のある方、何事にも意欲を持って前向きに取り組むことのできる方、一緒に働けることを楽しみにしています。



曾我 奈津子

SOGA Natsuko

輸出・港湾関連  
情報処理センター株式会社  
総務部 総務課長  
【平成21年度入省 法律】

民間出向

新たな環境、新たな視点

皆さんは、NACCS (Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System) というシステムをご存知でしょうか。日常生活ではあまり聞くことのないシステムかもしれませんが、NACCSは、輸出入者、貨物の運送事業者、通関業者、税関を含む行政機関などでやりとりされる国際物流に関するさまざまな情報をオンラインで結び、税関手続や関連する民間業務を一元的に処理する官民共有のシステムで、我が国の国際物流にとって欠かせないものとなっています。

私が現在勤務している輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社(通称:NACCSセンター)では、NACCSの安定運用とお客様へのサービス向上を使命として、さまざまな課題に対処すべく、日々検討を重ねています。私が所属する総務課は、各部門が円滑かつ効果的に業務を遂行できるよう、会社運営の総括業務

や、株主総会や取締役会といった各種会議の運営、職場環境の整備等、多岐に渡る業務に取り組んでいます。

また、NACCSセンターは、民間企業でありながら、プロパー社員の他、税関や他省庁、他の民間企業からの出向者と多様なバックグラウンドを持った者が勤務しています。いわゆる「役所」での勤務経験しかなかった私にとっては新鮮な環境であり、NACCSセンターでの経験は新たな視点を得る貴重な機会となっています。これまで、財務省関税局をはじめ、税関、他省庁など、さまざまな組織で勤務する機会がありました。各職務には異なる課題が伴いますが、柔軟な姿勢で取り組んでいくことが求められます。そのためにも、多様な価値観や考え方に触れ、自身の視野をより広げ、深めていきたいと考えています。



須藤 祥一

SUDO Shoichi

農林水産省 輸出・国際局  
国際経済課 国際交渉官  
【平成14年度入省 理工】

他省庁

国家公務員として働くということ

皆さんは、国家公務員として働くことになったら、何を体験し、どう成長し、何を作り上げていきたいと考えているでしょうか。

日本は政府を挙げて農産物の輸出推進に取り組んでおり、私が働いている農林水産省は、その最前線として様々な施策を実施しています。

製品の輸出を促進するためには、製品の魅力や価値を高め、産品を輸出しやすい環境を作ることが重要です。

私自身は、農産物の輸出促進に向けた保税工場制度の活用に関わっていますが、これまで財務省税関の業務で培ってきた知識などを活用できています。

保税工場制度は、海外からの原料を関税などを支払うことなく工場に搬入し、加工した上で海外に送り出すことができる制度であり、工業製品で積極的に活用されています。加工の際には国産品も原料として用いることができるため、海外原料及び国産原料に付加価値を付けて輸出することが可能となっています。

これまで農産物にはあまり活用されていな

かったのですが、保税工場の活用は、農産物に付加価値を与え、加工貿易を促進し、輸出を拡大していくための大きな助けになるものと考えています。

我が国に出入りするモノ全てを扱う財務省税関での経験によって、法令を基礎として産業に直結した知識を身につけることができました。こうして得られた知識が、農林水産省をはじめとした様々なフィールドにおいて、国家公務員として政策を作り上げていく上で非常に役に立っていることを実感しています。





新家 稔裕

SHINYA Toshihiro

警察庁 刑事局組織犯罪対策部  
組織犯罪対策第二課 課長補佐  
【平成22年度入省 経済】

他省庁



法改正の検討渦中に飛び込む

近年、大麻事犯の検挙人員が増加傾向であり、とりわけ若年層における大麻乱用拡大が深刻化しています。そのような状況において、大麻から製造された医薬品の施用(法律上では施用ですが、使用と同じと思っ

てもらって構いません。)などを可能とするとともに、大麻の不正な施用に対する禁止規定や罰則規定の適用などといった、私が警察庁に出向する前から数年来検討されてきた改正内容が含まれた、大麻関連の改正法が令和5年12月に公布されました(施行は令和6年中の予定です)。この法律を所管している、いわゆる法律の内容について責任を持っているのは厚生労働省ですが、警察は法律に基づいて検挙などの取締りを行うため、その一番のユーザーとも言えます。

そこで私は、厚生労働省が主導となって改正法をどういった内容にしようかと検討している際に、将来改正法が適用されることとなった場合、警察が取締りを行うに当たって問題ないか

という観点からの意見出しや、他省庁と意見をすり合わせるための調整などを行っていました。その際、警察庁としての意見だけでなく、税関としてはどうかということも併せて聞かれることもあり、回答を一旦保留して税関の担当者を確認してから回答をしたこともありました。今は改正法の施行に向けて、取締りの実際の運用方法について鑑定部門も含めて関係省庁で検討を進めているところです。

他省庁に出向しても、このような社会的に影響の大きい業務に携わることができず、税関より圧倒的に人数が多い警察の現場への影響を考えるとというのは、相応の責任がありますが、それはそれで出向中にしかできない良い経験だと思っています。



個人情報情報の通関

私は昨年7月から個人情報保護委員会事務局に出向しています。個人情報保護委員会は、平成28年1月に設置された内閣府の外局で、「個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護する」という個人情報保護法の目的を踏まえなが

ら、文字どおり個人情報の適正な取扱いの確保を図ることなどを任務としています。その中でも私は、国際室で、「個人情報の保護を図りつつ、国境を越えた個人情報の円滑な流通を確保」という、相反するようにも見える理念の実現を目指し、国境を越える「個人情報」の保護のための最後の砦として、日々の業務に取り組んでいます。

税関と個人情報は今や切っても切り離せません。一見関わりが無いように思えるかもしれませんが、海外から帰国したときの申告(黄色の紙を渡すとき)や、海外から輸入する際(インターネット通販で海外からものを買うとき)など、皆さんは様々な場面で常に個人情報を提供しています。

税関の使命である「迅速な通関と厳格な取締

り」を実現するためには、「個人情報の保護を図りつつ、国境を越えた個人情報の円滑な流通を確保」する必要があります。

個人情報保護委員会はまた新しい役所であることから、職員の大半が、事務局採用以外の、他省庁や民間企業等からの出向者で構成されています。バックグラウンドの異なる方々と協力しながら、それぞれの視点から答えのない課題に日々対処していく毎日は刺激にあふれています。

今後の日本を背負っていく皆さんの知恵や力を是非貸してください!



岡本 和之

OKAMOTO Kazuyuki

個人情報保護委員会事務局  
企画第2係長  
【平成31年度入省 法律】

他省庁



1年目職員からのメッセージ

税関を志望した理由

学生へのメッセージ

印象に残った仕事・やりがい

岡村 瑛葉

OKAMURA Eba

関税局 調査課総括係  
【令和5年度入省 経済】



就職先を考えるにあたり、治安維持に携わりたいと考え、3つの使命の1つとして「安全安心な社会の実現」を掲げ日本の安全を守る税関の仕事に興味を持ちました。当初は空港での荷物検査の印象が強水際取締りに関する業務が中心かと思っていましたが、説明会を通じて貿易円滑化の推進や国際協力など幅広い分野にも関われる点に魅力を感じ志望しました。

熊谷 勘汰

KUMAGAYA Kanta

関税局 監視課総括係  
【令和5年度入省 政治・国際】



安全・安心な社会を実現するため、不正薬物やテロ関連物資など人々の暮らしを脅かすモノの流入を阻止する水際取締りに関する業務や政策づくりに関わることができるということで税関に関心を持ちました。説明会に参加する中で、水際取締りだけでなく、関税政策の企画・立案や国際交渉、国際協力など様々なフィールドで活躍できることを知り、さらに魅力を感じたため、税関総合職を志望しました。

溝口 千遥

MIZOGUCHI Chiharu

関税局 経済連携室  
経済連携第一係  
【令和5年度入省 法律】



就職活動中は選択に迷うことが多くありますが、存分に悩んだ後は自らの信じた道を進めば大正解だと思っています。その選択は自分次第でベストにできるものなので、きっと大丈夫です。長期戦なのでバランスを取りながら、心身健康に乗り切れますようお願いしております。一緒に働ける皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

溝口 正晃

MIZOGUCHI Masaaki

関税局 第二参事官室  
国際調整係  
【令和5年度入省 法律】



進路について、納得のいく選択をするためには、いろいろなところで説明を聞き、自分が本当にしたいことを見つけたり、一緒に働くこととなる職員の雰囲気を知ったりすることが重要だと思います。そのうえで、進路として選んだ先が財務省税関であれば大変嬉しいです。皆様と関税局で一緒に働けることを楽しみにしています。

清野 紘大

SEINO Koudai

関税局 関税課法規係  
【令和5年度入省 経済】



関税政策の企画・立案を担う関税課で農産品の関税率に関わる業務を担当し、中でも他省庁との打合せや法制局との案文作成を通じた関税関係法政令の改正に関する業務が印象に残っています。税率変更に関わる責任ある仕事であり、やりがいも大きい一方プレッシャーもあつたので、無事に終えたときは肩の荷が下りた気分でした。

堀川 武志

HORIKAWA Musashi

関税局 税関調査室  
【令和5年度入省 化学・生物・薬学】



税関調査室では、世界最先端の税関(スマート税関)の実現に向けた業務、例えば先端技術・AIなどの活用に関する業務を行っています。(スマート税関実現に向けた取組の詳細については、税関HPをぜひご覧ください!)これらは旅客や通関業者の利便向上に繋がるだけでなく、税関職員の業務効率化などにも資するものであり、税関に関わる全ての方の役に立るといふ点で非常にやりがいを感じております。





# ワークライフバランス・福利厚生

財務省税関においては、職員が仕事と子育てを両立し、ワークライフバランスを実現するための各種支援制度が整備されています。また、子育てに奮闘する職員から、制度を活用した経験について紹介します。

## 勤務条件・福利厚生等

### 初任給

- 学部卒(大卒程度試験) 249,640円
- 大学院卒(大卒程度試験) 274,120円
- 大学院卒(院卒程度試験) 277,720円

地域手当及び本府省業務調整手当を含む。 ※令和6年4月実績

### 諸手当

扶養手当、通勤手当、超過勤務手当、期末手当・勤働手当(ボーナス)、住居手当、地域手当、本府省業務調整手当 等

### 勤務時間

- 7時間45分/日(38時間45分/週)
- ※フレックスタイム制の利用可

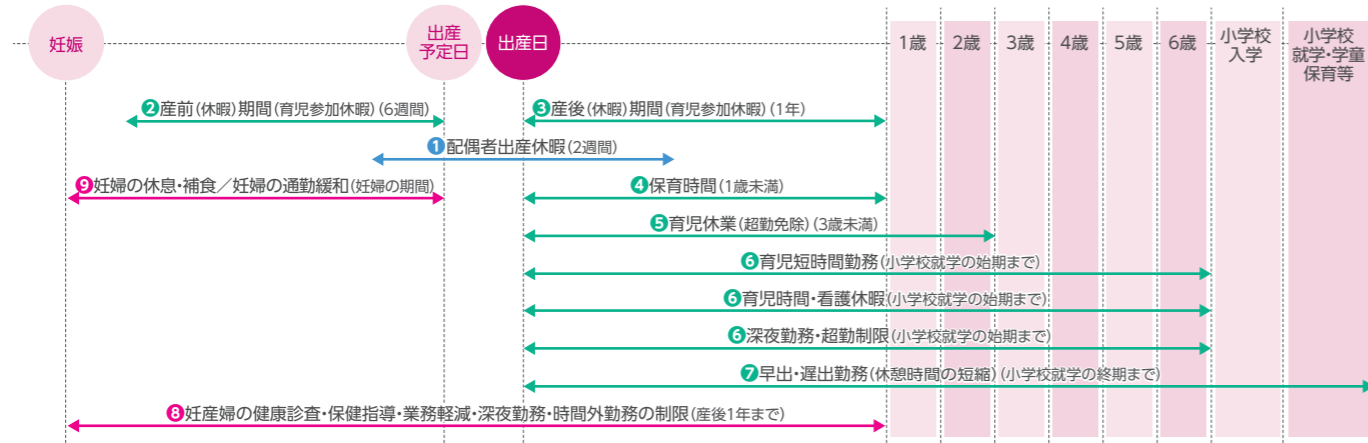
### 休日休暇

- 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
- 年次休暇(年20日、採用の年は15日)
- 夏季休暇、結婚休暇、忌引休暇 等

### 福利厚生

診療所/各種共済制度(医療給付、出産等に伴う手当金の給付、育英資金や住宅資金の貸付事業、年金事業、宿泊施設 等)

## 仕事と子育ての両立支援



対象男女	No.	両立支援制度	取得可能期間
●	1	配偶者出産休暇	入院等の日から出産の日後2週間(2日の範囲内)
●	2③	男性育児参加休暇	産前6週間(多胎妊娠は14週間)、産後1年までの期間のうち5日の範囲内 ※産前期間は小学校未就学の子を養育する場合に限る
●	2③	産前・産後休暇	産前6週間(多胎妊娠は14週間)、産後8週間までの期間
●	8	妊産婦の健康診査・保健指導	生後1年に達しない期間
●	8	妊産婦の業務軽減	生後1年に達しない期間
●	8	妊産婦の深夜勤務・時間外勤務の制限	生後1年に達しない期間
●	9	妊婦の休息・補食	妊婦の期間
●	9	妊婦の通勤緩和	妊婦の期間

対象男女	No.	両立支援制度	取得可能期間
●	3④	保育時間	生後1年に達しない期間
●	5	育児休業	子が3歳に達するまでの期間
●	5	超過勤務免除	子が3歳に達するまでの期間
●	6	育児時間	小学校就学の始期に達するまでの期間
●	6	育児短時間勤務	小学校就学の始期に達するまでの期間
●	6	深夜勤務・超過勤務制限	小学校就学の始期に達するまでの期間
●	6	子の看護休暇	小学校就学の始期に達するまでの期間(年5日の範囲内) ※対象となる子が2人以上の場合は年10日
●	7	早出・遅出勤務	小学校就学の終期までの期間 ※小学校に就学している子については、放課後児童クラブ等に送迎する子については、送り迎えに限り
●	7	休憩時間の短縮	小学校に就学している子については、子の送迎のため住居以外の場所へ赴く場合に限る

## 育休取得経験の職員



### 井上 麻里

INOUE Mari

関税中央分析所  
分析調整官  
【平成22年度入省 理工】

育休取得  
経験者



### 小林 諒

KOBAYASHI Ryo

神戸税関 調査部  
統括調査官(調査第1部門担当)付調査官  
【令和2年度入省 法律】

育休取得  
経験者



## 二度の職場復帰を経て

現在、2歳と4歳の子供がいます。第一子の際は近隣の保育園の空き状況から生後半年で職場復帰しましたが、やっぱりもっと一緒に過ごしたいと、第二子の際は1年長く育児休業を取得しました。子供たちとより長く一緒に過ごしたことで、第一子の復帰の際と比べて、現在はより仕事に打ち込めるように感じています。

両立支援制度には色々ありますが、第一子の職場復帰の際はまだ授乳中でしたので、1歳になるまでは保育時間を取得しました。また我が家は夫も国家公務員で、当時は職場配置の都合上、夫が育児時間を取得し、保育園の迎えなどを行っていました。実はこの影響は大きく、夫が一人で子供の面倒を見る時間が増えたことにより育児の大変さを共有できたことが、今も仕事を続けるうえで大きな助けとなっています。なお、国家公務員は男性の育休にも力を入れており、夫も第一子の際は1か月、第二子の際は約9か月の育児休業を取得しました。

また、第一子の職場復帰後も現在も、フレック

ス制度をフル活用しています。普段は保育園に送ってから10時頃出勤しますが、テレワークの日は通勤時間分早く勤務を開始し、保育園から帰宅する子供たちと一緒に夕食を取ったりお風呂に入ったりしています。また、業務の都合で出勤時間を早めることも、より遅くすることもあります。

どの両立支援制度も関税局・税関のすべての職場で心置きなく使えるかという周囲の心持ちが追いつかない部分もありますが、昔と比べると共働き世帯の増加に伴い「先輩パパ」が増えたことで、職場における子育てへの理解は高まっていると感じます。第一子の復帰後は関税局でも1年勤務しましたが、子供にできるだけ負担がかからないようにと帰宅時間にはかなり気遣っていたのですが、また第二子の復帰後は、登園渋りにより遅刻や休暇が続き心苦しく思うこともありましたが、「うちも登園渋り多かつたよ。大変だよな」と複数の方に声をかけていただき、大変助けられました。

関税局・税関に総合職で採用され、働きながら子育てしている女性は年々増えています。仕事も家族も大事にしながら、皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

## 子育てを通じて得た学び

私は昨年長女が生まれ、約1か月の育児休業を取得しました。育児休業の取得にあたっては、子育てをされている多くの先輩職員に倣って、私も子供が生まれた際には育児に専念する機会を設けたいと考えていました。実際、直属の上

司に相談した際にも「ぜひ育児に専念してほしい」と強い後押しをいただきました。

育児休業の間は、とにかく勉強の毎日でした。日々、トライ&エラーを繰り返しながら、ミルクの作り方、おむつ替え、沐浴の方法などを学んでいきました。一方で、連日の激しい夜泣きに対しては、ミルクを与えても、抱っこをしても泣き止んでももらえず、手も足も出ないこともありました。子育てをされている方々はこんなにも苦勞されているのかと、「目から涙」が止まらない我が子の隣で、私自身は「目から鱗」でした。

職場に戻ってからは、日々の業務に対する時間の使い方を見直しました。業務に対する優先順位を付けて効率的に取り組む、年次休暇を1時間単位で活用するなど、平日も可能な限り子育ての時間を確保するよう努めています。妻や

子供と一緒に過ごす時間が仕事に対する意欲の向上に直結することで、厳しい課題にも粘り強く挑戦できるようになりました。

家族や職場の手厚いサポートもあり、安心して子育てに専念できたからこそ、職場の内外問わず多くの学びを得ることができました。また、仕事で100%の力を発揮するためには、家族と過ごす時間は必要不可欠だと改めて実感しました。財務省税関では、仕事と子育てに関する両立支援制度が充実しており、職員一人一人のライフスタイルに寄り添った働き方が実現可能です。少しでも興味を持たれた方は、ぜひ財務省税関に足を運んでみて下さい。



## 採用担当者からのメッセージ

### 関税局 管理課



#### 平田 哲也

HIRATA Tetsuya  
関税局 管理課  
専門調査官  
【平成10年度入省 法律】

#### 伊藤 由衣

ITO Yui  
関税局 管理課  
調査官  
【平成31年度入省 経済】

#### 財務省税関の魅力

**平田:**伊藤さんはもうすぐ入省6年目ですが、これまで働いてきて感じる財務省税関の魅力は何だと思いますか？

**伊藤:**時が過ぎるのは早いですが、これまでに感じた魅力は色々ありますが、1つ挙げるとすれば「業務の幅広さ」でしょうか。入省してから、税関での現場業務や関税局での国際業務まで様々な経験をさせていただき、飽きたと感じたことがありません。これからのような仕事ができるのが楽しみです！

**平田:**財務省税関は海外との扉、ボーダー官庁として国際、国内含めて様々なプレイヤーと関係があり、政策面、執行面など本当に多種多様な業務内容がありますね。一方で関税・税関という確かな軸を持ちながらキャリアを積んで行ける面もあります。本誌に掲載されている諸先輩方の仕事内容の紹介は伊藤さんにとっても興味深いものだと思います。

#### 採用したい人物像

**伊藤:**採用担当者として、どういう方を採用したいと思いますか？また、どのような方が財務省税関総合職として活躍できると思いますか？

**平田:**官庁訪問に来て頂く方は皆様、国家公務員総合職試験に合格した頭脳明晰で大変優秀な方だと思います。その意味で能力というよりは、この財務省税関の仲間や職場風土に合うかどうか、ミスマッチがないかという点が大事だと思っています。また、官庁訪問時に財務省税関に対する強い思い入れは必要なく、協動的でバランス感覚に優れた方が税

関総合職として活躍できると思います。私自身も官庁訪問時は財務省税関のことをほとんど知らずに入省し、今に至っていますが、本当に魅力溢れる面白い仕事をよい仲間とやって来られていると実感しています。

**伊藤:**私自身、財務省税関を選んだ最後の決め手は、職場や働く職員の雰囲気良さそうだと感じたからです。関心があれば是非説明会などにも参加いただければと思います！

#### オフタイム

**平田:**採用活動で全国に出張の機会があると思いますが、オフタイムはどのように過ごしていますか？

**伊藤:**出張では空き時間があれば、ご当地グルメを堪能して過ごしています。特にラーメンが大好きなので、福岡出張の際は食べ過ぎてしまいました(笑)。オフタイムを楽しむことで息抜きができ、より仕事を頑張ろうと思える気がします。

**平田:**内定者の見学会で関西に出張したときのタコ焼き&シャンパンも満喫しましたね！昨年末の職場の同僚とのワイン会も楽しかったですね。



#### 学生へのメッセージ

**平田:**是非一度、説明会や官庁訪問にお越し頂いて、財務省税関総合職の魅力、働き甲斐、人についてもっと知ってもらえたらと思います。

**伊藤:**無数の選択肢に悩むことも多いと思いますが、人からアドバイスをもらうことも大切ですが、まずは自分に正直に考えてください。皆様がいつか振り返ったときに「この仕事を選んでよかったな」と思えるような進路先を見つけられるよう応援しています。そして、もしこのパンフレットを通して財務省税関に関心を持ち、将来の選択肢の1つとして考えてくださったらとても嬉しいです！



## 人事採用関連情報

### 採用状況と任用

#### 過去6年間の総合職年度別採用人数

※( )内は女性の数

年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人数	7(3)	7(3)	8(3)	6(3)	7(3)	6(3)
院卒	行政:1	行政:1 化学・生物・薬学:1	行政:1	行政:2		農業科学・水産:1
大卒	法律:4 経済:1 教養:1	政治・国際:1 法律:3 化学・生物・薬学:1	政治・国際:1 法律:4 経済:2	政治・国際:2 法律:2	政治・国際:2 法律:2 経済:2 化学・生物・薬学:1	政治・国際:2 法律:2 経済:1



総数 **168**人

※令和6年3月1日現在

試験区分別在職状況

事務系

**120**人

技術系

**48**人

### 採用等に関するQ&A

#### Q1 試験区分によって携わる業務内容や採用後の任用に違いはありますか？

**A** 税関では、採用時の試験区分に関わらず、税関業務全般に携わっていただくことになります。技術系だからといって、特に業務が限定されることはありませんし、配属先によっては、学生時代に身に付けた専門知識を存分に発揮できる機会もあります。また採用後の任用についても違いはなく、本人の希望や能力次第で様々な業務を経験することができます。

#### Q2 税関業務についてより詳しく知るためにはどうしたらいいですか？

**A** 人事院主催の説明会等に参加していただければより詳しく税関の業務について理解していただくことができます。その他、税関ホームページにも水際取締りや輸出入手続き、貿易統計といった業務に関わる情報を掲載していますので、ご覧下さい。また、税関ではX(旧Twitter)やFacebookを活用し、全国における覚醒剤やコピー商品などの水際取締りの取組みをはじめとする税関の活動について紹介しています。  
税関ホームページ→<https://www.customs.go.jp>  
税関X(旧Twitter)→[https://twitter.com/custom\\_kun](https://twitter.com/custom_kun)  
税関Facebook→<https://www.facebook.com/Japan.Customs>

#### Q3 英語力はどの程度必要ですか？

**A** 英語力は高い方が望ましいですが、採用時に必ずしも英語力が高くなくても、採用後の研修や自主的な勉強により、英語力を高め、国際的な分野で活躍している諸先輩も多くいます。

#### Q4 業務説明会などの情報はどのように知ることができますか？

**A** 税関では、例年、公務研究セミナーや霞が関OPENゼミ等、数多くの説明会などを実施しています。説明会等については、大学等でも情報提供されていますが、税関のHPでも、随時情報を更新し、説明会などの情報提供を行っています。税関に関心のある方は、税関ホームページの採用案内ページをご確認下さい。  
<https://www.customs.go.jp/saiyou/saiyou.htm>



#### Q5 研修について教えてください。

**A** 採用時の研修にはじまり、語学研修、国内外の大学院への派遣研修、経済学に関する研修などの機会が多くあります。なお、これらの研修には、文系、理系を問わず派遣しており、理系の者が大学院で経済学を学ぶなど、自身を高める機会が豊富です。

#### Q6 国際的な業務を行うことは必須ですか？

**A** 財務省税関(総合職)では、多くの国際的業務を行う機会がありますが、同時に国内の業務も多く、関税局における法令業務、監視取締分野の企画立案や法執行業務、貿易円滑化に関する企画立案や執行業務、税関のITシステムに係る業務など様々な分野で活躍する機会があります。

## 総合職採用

### 財務省関税局管理課人事第一係

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1  
財務省本庁舎3階(北357)  
電話(代表)03-3581-4111(内線2471)  
夜間(直通)03-3581-0226

### 総合職の採用に関するお問い合わせ

zeikan-saiyo@mof.go.jp

### 税関ホームページ

<https://www.customs.go.jp>



### 財務省ホームページ

<https://www.mof.go.jp>



## 一般職採用

### 函館税関 総務部人事課人事第1係

〒040-8561 函館市海岸町24-4  
函館港湾合同庁舎  
電話 0138-40-4225  
<https://www.customs.go.jp/hakodate/>



### 東京税関 総務部人事課人事第3係

〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11  
東京港湾合同庁舎  
電話 03-3599-6227  
<https://www.customs.go.jp/tokyo/>



### 横浜税関 総務部人事課人事第1係

〒231-8401 横浜市中区海岸通1-1  
電話 045-212-6020  
<https://www.customs.go.jp/yokohama/>



### 名古屋税関 総務部人事課人事第1係

〒455-8535 名古屋市港区入船2-3-12  
名古屋港湾合同庁舎  
電話 052-654-4025  
<https://www.customs.go.jp/nagoya/>



### 大阪税関 総務部人事課人事第1係

〒552-0021 大阪市港区築港4-10-3  
大阪港湾合同庁舎  
電話 06-6573-8809  
<https://www.customs.go.jp/osaka/>



### 神戸税関 総務部人事課人事第1係

〒650-0041 神戸市中央区新港町12-1  
電話 078-333-3013  
<https://www.customs.go.jp/kobe/>



### 門司税関 総務部人事課人事第1係

〒801-8511 北九州市門司区西海岸1-3-10  
門司港湾合同庁舎  
電話 050-3530-8314  
<https://www.customs.go.jp/moji/>



### 長崎税関 総務部人事課人事第1係

〒850-0862 長崎市出島町1-36  
電話 095-828-8621  
<https://www.customs.go.jp/nagasaki/>



### 沖縄地区税関 総務部人事課人事係

〒900-0025 那覇市壺川3-2-6  
壺川ビル3階  
電話 098-996-5514  
<https://www.customs.go.jp/okinawa/>



財務省税関一般職の採用は、各税関で実施しております。このパンフレットをご覧になって、税関に少しでも興味をお持ちの方は、上記にお問い合わせください。また、各税関のホームページに管轄や採用案内等を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

